

令和6年度
上伊那採択地区協議会 資料
(教科用図書の調査研究報告)

国 語

書 写

社 会
(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)

地 図

数 学

理 科

音 楽
(一般・器楽合奏)

美 術

保 健 体 育

技 術・家 庭
(技術分野・家庭分野)

英 語

道 徳

【 国 語 】

東京書籍

三省堂

教育出版

光村図書

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [国 語]

種目名 [国 語]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい国語）
教科の目標からの配慮	○ 「『言葉の力』を生きる力に。」「国語の授業から広がる未来。」 「一人一人の『学びたい』に寄り添う。」を特色に、3 年間で言葉の力を積み上げるつくりとなっている。 ○ 「未来への扉」として 9 つのテーマから考えを深めるつくりになっている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 3 年間にわたって身に付ける「言葉の力」を系統的に配置し、多様な学期制に対応した各領域の配置をしている。 (2) 登場人物の変容や心理を描いた作品、課題解決の手だてを工夫した文章等、様々な種類の文章に接して学べる工夫をしている。 (3) キャラクターの「問い」に沿って、「読み深める」「考えを持つ」段階の「言語活動」で、協働的な学びとなる工夫をしている。 (4) 文章に関連した挿絵や図表を掲載し、古典においては特に多くの資料を掲載して理解の助けとなるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「学びを支える言葉の力」で「知識及び技能」を指導し、「広がる言葉」で語彙を豊かにするための工夫をしている。 (2) 資質・能力のポイントを「言葉の力」として明示し、系統的に配置することで、発展的に指導できる工夫をしている。 (3) 「てびき」で学習の流れを示し、現在の学習が、次に続く言語活動に生かせる配列で、協働的な学びを促している。 (4) 「言葉を広げよう」「思考のヒント」「言葉のカー一覧」等、多くのデジタルコンテンツで学びをサポートする配慮をしている。 デジタルコンテンツ数 ①143 ②142 ③130
全体的な特色	○ 個性的なキャラクターに倣って学ぶよう工夫している。 ○ 「振り返る」で各教材の目標や「言葉の力」を意識した自己評価を生徒に促す工夫をしている。 ○ 色の違いで区別する場合には、必ずマークや文字情報を加え、色以外の要素でも区別できるようにしている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [国 語]

種目名 [国 語]

発行者名 選定基準	三省堂（現代の国語）
教科の目標からの配慮	○ 何を学んだかを実感でき、個別最適な学びと協働的な学びを達成するために、6つの基本方針を示している。 ○ 『『学び方』がわかる』『対話』を通して深める』『学びをつなげる』を特徴に「何を学んだか」を「実感」できるつくりとなっている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 「読み方を学ぼう」によって「読むこと」と「書くこと」の学習を関連付けた単元の配置となっている。 (2) 社会生活等に役立つ「読み方」を学ぶ文学的文章、現代的な課題を扱う説明的文章で、実生活に結びつく学びを工夫している。 (3) 問うことを重視し、「思考の方法」を手段に、「学びの道しるべ」に沿って学びを深められるように工夫している。 (4) 資料集のように様々な写真や図を、カラーで、文章と関連付けて掲載している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「語彙を豊かに」という補助資料、「思考の方法」を示し、「知識及び技能」と各領域とを関連付けた指導の工夫をしている。 (2) 「読むこと」の教材に、読み解くための技やこつの「読み方」を段階的に示し、22種類を系統的に指導できる工夫をしている。 (3) 学習過程を「学びの道しるべ」として示し、学習者相互の対話によって協働的な学びを促す工夫をしている。 (4) 「読み方を学ぼう」「思考の方法」の解説動画、「デジタルドリル」等によって指導のサポートが行えるよう工夫している。 デジタルコンテンツ数 ①203 ②193 ③187
全体的な特色	○ 教材末の「語彙を豊かに」で語彙力を高めるよう工夫している。 ○ 末尾に「振り返りのキーワード」を明記することで、指導事項に基づいた自己評価ができるように配慮している。 ○ 教科書を上下段に分け、情報を区別している。色覚特性への配慮、図解の多用、見開き完結のレイアウトなどの工夫がある。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [国 語]

種目名 [国 語]

発行者名 選定基準	光村図書（国語）
教科の目標からの配慮	○ 4つの基本方針「国語力」「新 QR×個別最適」「語彙力」「教材の力」により、「言葉の力」で課題を解決できる力を身に付ける内容となっている。 ○ 「13のキーワード」を基に、今日的な教育課題に対する様々な配慮が見られる。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 9年間の系統性を考えて、「学びのカギ」を一覧にした「学びの地図」によって既習内容を生かして学べる配置となっている。 (2) 登場人物に自分を重ねたり、伏線や心理を読み解いたりする新たな作品の登場で、興味をもって学べる内容となっている。 (3) 「学びへの扉」によって見通しをもって主体的に学べ、最初に示された[学習活動]によって対話的に学べるよう工夫している。 (4) 各学年に、文章と図表を結び付けて読み取る教材が配置され、挿絵や写真も内容の理解の一助となるように掲載している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 「言の葉ポケット」「語彙ブック」「思考の地図」「情報整理のレッスン」等、発達段階に応じた指導ができるよう工夫している。 (2) 見開きの右に指導事項に沿って「学びへの扉」を、左に「学びのカギ」を示し、教材で身につける資質・能力を焦点化している。 (3) 「学びのカギ」を次に生かす構成で領域を超えた学びのつながりを生み、学習の調整力を育む指導となるよう工夫している。 (4) 「書くことのミニレッスン」、CBT形式の「国語の力試し」等、効果的な活用場面の一覧で ICT を活用した指導につなげている。 デジタルコンテンツ数 ①128 ②119 ③105
全体的な特色	○ 「語彙ブック」で、語彙力を身に付ける要点をまとめている。 ○ 教材の後に設けられている「振り返り」で3観点に基づく具体的な自己評価を生徒に促す工夫をしている。 ○ 「学びへの扉」で学習の流れがわかりやすく、資質・能力を身に付ける学習過程が色付きで焦点化している。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [国 語]

種目名 [国 語]

発 行 所	主 な 特 色
教育出版（伝え合う言葉 中学国語）	○ 学びが「見える」「深まる」に加え、「つながる」ポイントをそれぞれ3つ挙げて、自己や他者との対話を通して生徒が考えを深められるよう工夫している。 ○ 「学びナビ」で教材文や活動の前に学習内容の重点を示し、指導者も生徒も指導の見通しをもてるよう構成されており、指導や評価の焦点化もしやすい。また、「読むこと」教材末尾の「みちしるべ」に示された問いによって、生徒が主体的・対話的で深い学びができるよう配慮している。 ○ 考えを広げ合い、伝え合う言葉を身につけるのための手引きや、学習者自身の探究心に応じるのための手引きとして、150のデジタルコンテンツ「まなびリンク」が用意され、「協働的な学び」と「個別最適な学び」の充実が図れるよう工夫している。

【 書 写 】

東京書籍

三省堂

教育出版

光村図書

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [国 語]

種目名 [書 写]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい書写）
教科の目標からの配慮	○ 「書く力が私の力になる」をコンセプトに、書写学習で習得したことを日常生活で活用することを目指す。 ○ 筆の「動き」に着目した構成で、行書の書き方を 4 つの動きにまとめ、大事なポイントを「書写のかぎ」で示し、運筆動画で視覚的に理解を促している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 見開き 1 ページに 1 教材がまとめられていて、左の解説ページでは、楷書と行書を比較することで行書のポイントをつかめるようにしている。この教材で学んだポイントについて別の字でも生かせるよう、解説している。 (2) 基本点画の解説に、「筆」そのものをキャラクター化し、イラストを用いて親しみやすくしている。 (3) 手本の字形がたっぷりしていて豊かな印象を与える。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 書写の学びを生活に生かす「書写活用ブック」で、教科学習や生活で使う様式の具体例と解説を掲載している。 (2) ポイントをまとめた「書写のかぎ」で効果的・効率的に学習を進められるよう工夫している。行書の 4 つの動きに注目し、毛筆教材に加えて他の文字に生かすような学習の流れになっている。 (3) QR コンテンツは 66 点。巻末の「書写活用ブック」で、手紙やポスター、リーフレットなどの書式や、硬筆字典、ノートの取り方解説などを収録している。真上からの書き方動画は、指導者用の別コンテンツも用意している。
全体的な特色	○ 行書の中でも使用頻度が高い、特徴的な 4 つの動きに着目して学習できるように配慮している。 ○ 時候のあいさつに特化した硬筆の手本がある。 ○ 硬筆では、左利きでも右利きでも手本が隠れない配置になっている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究会

教科名 [国 語]

種目名 [書 写]

発行者名 選定基準	三省堂（現代の書写）
教科の目標からの配慮	○ 自分の文字をよりよくするコンセプトで、書いて身につけることを重視し、見開きで学習の流れが分かる視認性、書き方のポイントの明確化、国語教科書との連携などを特徴としている。 ○ 社会生活に生きる書写の力を育むことを目指す。毛・硬の連続した学習、小・高と連携を図った「書写の広場」も重視している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 「書き方のポイント」が学習の主な内容となっている。楷書では 3 点、行書では 7 点に焦点化して、学年ごと 2 ～ 3 ポイントずつ学習できるようにしている。 (2) 「学力テスト問題」のページを設け、試験対策のための練習ができるようにしている。 (3) 教科書見開きでの手本は、1 年のみに取り入れている。手本の字が若干細め。左利きの学習者用に解説動画もある。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 毛筆書写で習得したことを生活で活用するための硬筆の書き込みページを 11 教材分配置して、多様な「書く」場面を想定しながら「書いて身につける学習」を実現しようとしている。 (2) 教材の冒頭「書き方を学ぼう」でポイントを明示している。グループ新聞、情報誌、名言集などの教材を通して、学んだことを生活の中で生かす構成になっている。 (3) 資料編 25 ページ分には、のし袋や封筒など日常の書式や古典、楷行書一覧などを掲載している。QR コードで行書の書き方動画 20 点や参考資料、8 点の補充教材を収録している。
全体的な特色	○ 巻末の補充教材には、1 教材につき楷書と行書を並べている。 ○ 他教科との関連を視野に入れ、教科横断的な学習ができるよう工夫している。 ○ 重要項目を目立たせたり、識別しやすい配色となる工夫をしたりしている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [国 語]

種目名 [書 写]

発行者名 選定基準	光村図書（中学書写）
教科の目標からの配慮	○ 主体的に学ぶ書写学習を目指し、考える→確かめる→生かす 3 つのステップで構成するなど学びやすさ・教えやすさに工夫がある。教科書を 5mm 拡げ、見開き原寸大で使える手本としている。 ○ 文字文化の豊かさに触れる多様な教材があり、国語教科書と連動する教材や日常生活に生かせる教材を各学年で配置している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 中学校で初めて学習する行書では、4 つのポイント 1 つにつき 1 教材で学習するよう、内容を焦点化している。日常場面で使えるような手紙・送り状・願書などの書き方例が充実している。 (2) 国語教科書の教材、主に詩歌を手本に、硬筆での楷書、行書の練習教材が設けられている。横書きの練習材も設けている。 (3) 毛筆手本の見開き原寸大は、1・2 年で取り入れている。行書の 4 ポイントについてアニメーションで解説している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 硬筆練習帳「書写ブック」があり、文字を整え日常生活に生かす工夫がある。47 都道府県の写真資料で各地の文字文化を興味深く理解できるよう工夫している。 (2) 「行書スイッチ」で初めて学ぶ行書のポイントを示している。半紙手本・名前の印刷が簡単に 2 書体で作成できる。 (3) QR コンテンツは 463 点。全ての毛筆教材に筆遣いを確かめる動画を収録している。書き手目線で真上・斜め上の 2 アングルで動画が 137 点用意され、筆遣いを個別に繰り返し確認できる。
全体的な特色	○ 外国人の生徒をモデルに起用している。巻末に学年の学習段階に合わせて更にいくつかの手本を載せている。 ○ 様々な文書の書き方を巻末にまとめており、日常で使えるようにしている。「書写ブック」内に書写テストページがある。 ○ 巻末の常用漢字表を 50 音順で交互に色分けし、より字を探しやすくしている。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [国 語]

種目名 [書 写]

発 行 所	主 な 特 色
教育出版（中学書写）	○ 横幅の広いA B判の紙面構成で、学習内容や手順が大きく見開きで示され明確になっているため、生徒が主体的・意欲的に学習できるよう工夫している。 ○ 巻頭には「学習の進め方」が示されており、生徒自らが「どのように学ぶか」学習の見通しを持ち、課題解決してくための具体的な方法を知り主体的に学習できるように工夫されている。また、身に付けた力を言語活動で生かせるように、各学年の学習活動に即した教材・書式を豊富に掲載している。 ○ 「学習の進め方動画」「比較ツール」「課題に合った練習用紙」「目的に合った動画」など、97のQRコンテンツを活用した授業が展開でき、「個別最適な学び」を支援できるよう工夫している。

【 社 会 】

（地理的分野）

東京書籍

教育出版

帝国書院

日本文教出版

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社 会]

種目名 [社会（地理的分野）]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい社会 地理）
教科の目標からの配慮	○ 単元及び 1 時間の授業を、探究課題や学習課題を軸として構成し、課題解決的に学習を進めることで、「見方・考え方」を働かせた学習活動ができるよう配慮している。 ○ 情報を「集める」「読み取る」「まとめる」コーナーを設け、課題解決に必要な地理的知識及び技能を身に付けられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 見開き 2 ページを 1 時間の授業として、本文は平易な文章で因果関係を明確に記述し、発達段階に応じた学習が展開されるよう配慮している。 (2) 「未来にアクセス」で学習内容を補充し、「もっと知りたい」で探究的な学習を促すことで、主体的に向かうことができるよう工夫している。 (3) グループ活動を促す「みんなでチャレンジ」を各所に設け、調べたことを発表し合ったり話し合ったりして対話的に学び、思考が広がるよう工夫している。 (4) まとめでは、学習で習得した知識や技能、社会的な見方・考え方を働かせながら、身近な地域の課題を踏まえた将来像を構想できるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「スキル・アップ」を系統的に配置することで、地理的技能を段階的に高められるよう配慮している。 (2) 単元の導入で「探究課題」を設定し、解決に向けて毎時間の「学習課題」を追究し課題解決的な学習が進むよう配慮している。 (3) SDGs 等の 5 つのテーマで教科書全体を貫き、現代的な諸課題の解決に向けて学べるよう工夫している。 (4) 「D マークコンテンツ」を設け、既習事項や関連事項を視覚や活動を通してより具体的に提示・補足できるよう配慮している。 (5) 終末に「まとめの活動」を設け、思考ツールを用いて学習内容を整理しながら探究課題を解決できるよう配慮している。
全体的な特色	○ 課題解決的な単元及び 1 時間の構成とし社会的な見方・考え方を働かせて深い学びが実現できるようより配慮している。 ○ 対話的な活動や思考ツールを活用しながら単元全体を貫く「探究課題」を解決できるようよく配慮している。 ○ 資料の背景に色を付けて区分けを明確にしたり、フラットデザインを採用したりして、読み取りやすいようよく配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（地理的分野）]

発行者名 選定基準	帝国書院（社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土）
教科の目標からの配慮	○ 単元を貫く問いを基に、自然環境や文化、産業の学習をバランスよく構成し、地域的特色がとらえられるよう配慮している。 ○ 学習課題に対応した言語活動を毎時間設定し、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 地理的事象の背景や因果関係や、図や写真への参照指示や難しい語句の解説等を丁寧に記載することで、地理的な見方・考え方が広がるよう配慮している。 (2) イラスト地図や人々の営みが見える写真資料、コラムを豊富に掲載し、興味・関心を喚起するよう配慮している。 (3) 導入資料や「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を手がかりに、主体的・対話的に学習に取り組めるよう配慮している。 (4) 地域調査の手法や地域の在り方を考える単元では、調査方法やまとめ方等を具体的に示し、社会的な見方・考え方を働かせながら地域の課題解決に向けた構想ができるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「技能をみがく」コーナーを随所に設け、統計・グラフ等の読み取りなど基礎的技能が身に付くよう工夫している。 (2) 単元を貫く「章（節）の問い」から各「学習課題」へと問いが構造化され、連続的に追究できるよう配慮している。 (3) 「確認しよう」「説明しよう」「章（節）の学習を振り返ろう」で、まとめの活動を行うことで、地域的特色を多角的・多面的に考察することができるよう配慮している。 (4) 「未来へ向けて」や「地域の在り方を考える」を設け、主体的・対話的に課題解決に取り組む態度が養えるよう配慮している。 (5) 資料を豊富に掲載し、図番号などのリンク機能や、「資料活用」の記述により、資料を活用しやすいように工夫している。
全体的な特色	○ 大判の写真や人々の声を豊富に掲載し、各地域に暮らす人々の営みの様子がとらえられるよう配慮している。 ○ SDGs の取組や実現に向けた学習活動を多く掲載し、持続可能な社会への課題意識が高められるよう配慮している。 ○ ユニバーサルデザインを意識した字体や色調を使用し、大判の写真や地図を用いて、読み取りやすいよう配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（地理的分野）]

発行者名 選定基準	日本文教出版（中学社会 地理的分野）
教科の目標からの配慮	○ 社会的な見方・考え方を明確に示し、多面的・多角的に地理的事象について考察できるよう配慮している。 ○ 地域の課題解決を目指す学習や防災の実践的な学習を通して、社会の形成と発展に寄与する態度を養えるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 本文は十分な文字量と平易な表現で具体的に記述するなど、発達段階にあった学習となるよう配慮している。 (2) 単元の導入で地域的特色を具体的に示した大きな写真とクイズを掲載し、関心・意欲を高められるよう配慮している。 (3) 冒頭の導入資料と「学習課題」「見方・考え方」で学習の見通しをもち、「深めよう」や「確認」を参考にして主体的・対話的に学習できるよう配慮している。 (4) 地域調査の手法や地域の在り方の単元では、地域的特色をつかむための視点をもとに調査方法を示し、社会的な見方・考え方を働かせながら地域の課題について考察できるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 「スキルUP」で資料の読み取り方を提示することで、発達段階に応じて、系統的に地理的技能が習得できるよう配慮している。 (2) 導入の「クイズ」から「追究するテーマ」の設定、各「学習課題」へと連続的に追究できるよう単元が構成している。 (3) 「深めよう」や単元末の「アクティビティ」「チャレンジ地理」で考察することで、深い学びが実現できるよう配慮している。 (4) コラム「地理＋α」や特設ページ「自由研究」では、生徒が興味・関心をもち、主体的に考察ができるよう配慮している。 (5) 本文に図版番号を付して関連を明確にし、「資料活用」で資料を用いた活動を示すことで、活用しやすいよう配慮している。
全体的な特色	○ 着眼点を明確にし、解説や具体例を掲載することで、社会的な見方・考え方を働かせながら追究できるよう配慮している。 ○ 地域の課題と解決への取組を具体的に掲載し、課題解決に向けて行動しようとする態度を養えるよう配慮している。 ○ 地図やグラフを読み取りやすい配色にするとともに、模様や線種を工夫することで、誤読を防ぎ、正しく読み取りができるよう配慮している。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（地理的分野）]

発行所	主な特色
教育出版（中学社会 地理 地域にまなぶ）	○ 授業の振り返りを重視し、学習したことを整理してまとめる活動を位置付け、学習したことが定着するよう配慮している。 ○ 1時間の授業を見開き2ページで見やすく構成し、単元の扱いに軽重をつけ、無理なく世界と日本の諸地域を学習できるようにし、学習内容も段階的に発展、深化できるよう配慮している。 ○ 本文に資料との関連が分かる番号を付し、各単元の扉ページや巻頭、折込などには大きな写真を掲載して、学習効果が高まるよう配慮している。

【 社 会 】

（歴史的分野）

東京書籍

教育出版

帝国書院

山川出版社

日本文教出版

自由社

育鵬社

学び舎

令和書籍

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（歴史的分野）]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい社会 歴史）
教科の目標からの配慮	○ 探究課題を柱にした学習課題を据え、学習場面や展開の工夫をすることで多面的・多角的に思考・判断・表現し、対話的に課題解決できるよう配慮している。 ○ 発展的な学習内容や社会との繋がりを重視し、もっと知りたい等のページを設けることで、主体的かつ探究的に学べるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 探究課題や毎時間の学習課題が明示されており、見通しを持って主体的に学習できるように配慮している。 (2) 「資料から発見」を設定し、絵画資料から興味・関心を喚起し、日本の伝統や文化に誇りがもてるよう配慮している。 (3) 「みんなでチャレンジ」コーナーでは、考えを比較したり関連付けたりしながら対話的に思考を深められるよう配慮している。 (4) 「まとめの活動」において、確かめや振り返りの記述箇所を設けることで、歴史的な見方・考え方を働かせて考察できるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 導入部分で小学校の学習内容を振り返る活動を設けて、中学校の学習へ繋がりやすくなるよう工夫している。 (2) 「探究課題」「学習課題」「探究のステップ」の3段階の問いで構成し、課題解決的な学習ができるよう配慮している。 (3) 「探究のステップ」では、各時代の代表的事象を取り上げ、背景や影響、前の時代との差異などを連続的に追究しながら学習を進められるよう配慮している。 (4) 「もっと知りたい」のコーナーでは、知的好奇心を高める内容が端的に記され、主体的に探究学習が進むよう工夫している。 (5) サイズの明示や色彩への配慮等した資料を掲載することで、効果的な活用を促せるよう配慮している。 (6) 章の最後に「まとめの活動」を設定し、思考ツールを使って各時代を大観し、時代の特色を捉えられるよう配慮している。
全体的な特色	○ 資料から始まり、問いの追究を軸とした構成となっており、主体的に課題解決ができるようよく配慮している。 ○ 関連資料や対話活動などの学習活動を例示し、歴史的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう丁寧に配慮している。 ○ UDデザインフォントを使用したり、本文と資料掲載部分の地色を色分けしたりして、見やすくなるようよく配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（歴史的分野）]

発行者名 選定基準	帝国書院（社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き）
教科の目標からの配慮	○ 導入資料から、学習課題、本文、学習の振り返りまで課題を追究しながら知識及び技能が習得できるよう配慮している。 ○ 節の冒頭に各時代を概観するイラストがあり、小学校での学習と関連させながら、主体的に学べるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 資料提示から本文と追究資料を手がかりに、生徒が自ら課題に取り組めるよう配慮している。 (2) 中学生の発達段階を考慮して、解説や写真および図版の説明を設け、基礎的な知識の習得が図られるよう配慮している。 (3) 特設単元として、歴史的資料に関して考える場面を設け、自分で考え、まとめることで思考力が高められるよう配慮している。 (4) 「歴史を探ろう」「多面的・多角的に考えてみよう」のコーナーでは、学習した内容を具体的に深く考える場面を設定し、社会的な見方・考え方を働かせた学習ができるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 基礎・基本となる事柄を太字で記述し、各単元の終末では学んだことを振り返ることができるよう配慮している。 (2) 小学校の学習事項・地理・公民との関連を示し、学習内容の相互の関連が分かるよう配慮している。 (3) 文化史、地域史、各時代のような立場の意見を紹介し、相互に比較し、考えを深めたり現代への影響について考察したりすることができるよう配慮している。 (4) 「世界とのつながりを考えよう」で「歴史的な見方・考え方」を働かせ、世界の歴史の特色や日本との関連を多面的・多角的に考え学習できるよう配慮している。 (5) 動画資料が利用できるコンテンツを配置し、章ごとに重要な社会的事象について、学びを深められるよう配慮している。 (6) 本時の「学習課題」に照らした「確認しよう」「説明しよう」を設け、自分の言葉でまとめる学習が行いやすよう配慮している。
全体的な特色	○ 時代の特色や様々な視点を資料として掲載し、多面的・多角的に歴史を捉えることができるよう配慮している。 ○ 「タイムトラベル」のコーナーにおいて、時代の特色を表す人々の営みが捉えられるよう工夫している。 ○ 本文では、誤読を防ぐためにふりがなをふり、読み取りやすい文字を採用するなどユニバーサルデザインに配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（歴史的分野）]

発行者名 選定基準	日本文教出版（中学社会 歴史的分野）
教科の目標からの配慮	○ 因果関係について資料と本文を関連付けて記述し、事実から読み解く技能を身に付けられるよう配慮している。 ○ まとめを自分の言葉で説明するページや活動を入れ、生徒の思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 授業 1 時間に対し見開き 2 ページ構成で、平易な言葉を使い、理解が深まりやすくなるよう配慮している。 (2) 小学校で学習した人物名を欄外に載せることで既習内容とのつながりを想起し、学びが深まるよう配慮している。 (3) 章扉に世界地図と年表を載せて時代の流れを概観することを通して課題が明確となり、主体的・対話的に学習できるよう配慮している。 (4) 「チャレンジ歴史」を設けて、新聞記事や写真、解説にふれながら、まとめを自らの言葉で表現できるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 基本的な歴史的事象を原因・経過・結果・影響のように関連性をもたせ、因果関係を意識して学べるよう配慮している。 (2) 前ページの「確認」でまとめられた点が次のページの内容と連続しており、必然性と流れが捉えられるよう配慮している。 (3) 学習課題に対して「比較」「推移」等の社会的な見方・考え方を示し、事象の特色を捉えることができるよう配慮している。 (4) 民主政治の起源と発展、我が国への伝播などを資料とともに本文で詳しく説明し、主権者教育に取り組めるよう配慮している。 (5) 本文と絵図や解説を番号によって示し、本文と関連付けながら学習を進めることができるよう配慮している。 (6) 毎時間の「確認」と、各時代の終わりの「学習の整理と活用」により、評価の観点が明確になるよう配慮している。
全体的な特色	○ 平易な本文とそれを裏付ける適切な量と配置の資料や解説により、資料に基づいた歴史学習ができるよう配慮している。 ○ 世界と日本の結びつきを意識して様々な出来事や資料を載せ、世界と関わり存在する日本を学べるよう配慮している。 ○ グラフに細かい仕切り線を入れたり、鮮やかな色や原寸大の大きさを示したりすることで、資料が読み取りやすくなるよう配慮している。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（歴史的分野）]

発行所	主な特色
教育出版（中学 社会 歴史未来をひらく）	○ 図表の読み方や活用例などの資料について、活用方法を具体的に示しながら知識及び技能の習得がなされるよう配慮している。 ○ 「世界の動き」を章や節の前半に配置し、「日本の動き」との関連を示して、興味・関心を喚起しながら学習が深まっていくよう配慮している。 ○ 「歴史の技」コーナーを設け、社会的事象の比較や推移などの社会的な見方・考え方を働かせながら、特色や関連、意味を多角的に考えることができるよう配慮している。
学び舎（ともに学ぶ 人間の歴史 中学社会 歴史的分野）	○ 現代的な諸課題を扱い、社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養えるよう配慮している。 ○ 社会的事象の差異や因果関係に着目できる課題や問題を設定し、社会的な見方・考え方を働かせて、社会的事象の理解を深めることができるよう配慮している。 ○ 各章や部のまとめでは、学習したことを深める課題を設定し、社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を関連させて考えることができるよう配慮されている。
山川出版社（中学歴史 日本と世界 改訂版）	○ 多くの資料を載せ、根拠に基づいた知識の獲得と資料読み取りの力の基礎を築けるよう配慮している。 ○ 各章に世界地図と人々の風俗や歴史的遺産を見開きで入れ、その時代の様子を視覚的に捉えることで関心・意欲を喚起し、展開できるように配慮している。 ○ 詳細な資料と多くの解説を基に、主体的に取り組み、資料を相互に関わり合わせ、社会的事象の特色を多角的に考える力を養えるよう配慮している。
令和書籍（国史教科書 第7版）	○ 歴史の連続性を実感できるように配慮されている。また、縦書きを採用し、教科書としてだけでなく、読書をするような感覚で歴史を楽しく学べる一冊の本という側面ももち、様々なアプローチで歴史を捉えることができるように配慮されている。 ○ 日本の歴史や地域史に重点が置かれ、参考文献や地域の特産品の紹介等地域や日本の文化伝統に興味を湧くよう配慮している。 ○ 各時代の導入では、学習の見通しをもてるように年表から時代を概観し、「政治・外交・文化・産業」の問いを示し、時代の特色を考えていく構成になっている。

育鵬社（新しい日本の歴史）	○ 「学習課題」と、対応した「確認」「探究」を示し、「見方・考え方」「TRY!」「資料活用」などで調べたり話し合ったりする活動を通して、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育むように配慮している。 ○ 歴史的事象を系統的に配列し、「学習のまとめ」で、図表や文章でのまとめを行うことで、主体的に思考力を養うための発展的な学びがしやすくなるよう配慮している。 ○ 二次元コードからインターネットにアクセスでき、1人1台端末の活用や主体的な学習活動への配慮がしている。
自由社（新しい歴史教科書）	○ 歴史的な見方・考え方を巻頭と序章にて示し、学習の構造化、焦点化を図ることで、国際協調の精神や公正に選択・判断する力が養われるよう配慮している。 ○ 学習課題と関連する資料の提示によって主体的に課題解決学習ができるよう工夫されており、基礎・基本の定着と思考力、判断力、表現力の育成ができるように配慮している。 ○ 「時代の特徴を考えるページ」では、学んだことを構造化する活動等を通して、学習内容の整理や、表現力が養うことができる発展的な学びがしやすくなるよう配慮している。

【 社 会 】

（公民的分野）

東京書籍

教育出版

帝国書院

日本文教出版

自由社

育鵬社

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社 会]

種目名 [社会（公民的分野）]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい社会 公民）
教科の目標からの配慮	○ 現代社会が抱える課題について考察し、多面的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力が養われるよう配慮している。 ○ 持続可能な社会の実現に向けて考える「未来にアクセス」を設け、社会参画の力を育成できるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 平易で具体的な記述を用い、イラストなどを掲載して、生徒の日常生活や発達段階にあった学習となるよう配慮している。 (2) 単元の導入では、主体的に課題を捉え、個別追究や小集団による協働的な活動を進められるよう工夫している。 (3) QRコンテンツを使って動画やワークシート等で学びを深めたり、終末にチェック＆トライで確認したりできるよう工夫している。 (4) 学習の過程の各所に、「見方・考え方」のマークを設け、社会的事象を多様な視点で捉え、学びを深められるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 小学校や地理・歴史分野の学習の成果を生かし、既習内容や 3 分野を関連させた展開ができるよう配慮している。 (2) 単元を貫く「探究課題」の設定から解決に至る流れの中に、1 時間ごとの学習課題と探究のステップを明示することで、段階的に探究学習を進めることができる工夫をしている。 (3) 「チェック」「トライ」コーナーを設け、思考力・判断力・表現力等を高められるよう配慮している。 (4) 単元の終末に「確かめよう」「振り返ろう」「深めよう」を設定し、「知識」「主体性」「思考・判断・表現」の 3 観点との関連性を分かりやすく示す工夫をしている。 (5) ICT 機器を活用して利用できるコンテンツが用意され、学習効果が高まるよう配慮している。
全体的な特色	○ 課題解決的な単元構成により、社会的な見方・考え方を働かせ、今日的な課題の解決に向け学習できるようより配慮している。 ○ 対話的な学習場面を豊富に取り入れ、他者と協働しよりよい社会を築こうとする意識と態度が養えるようよく配慮している。 ○ 資料部分の背景に色を付けて本文との区分けを明確にしたリ、資料の図番号を本文にも付けたりする等、必要な情報を探しやすくなるようよく配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社 会]

種目名 [社会（公民的分野）]

発行者名 選定基準	帝国書院（中学生の公民 よりよい社会を目指して）
教科の目標からの配慮	○ 導入の工夫や連続的な問い、見通しや振り返りの活動を通して、多面的・多角的な考察、選択・判断がなされるよう配慮されている。 ○ 現代社会の課題を多く扱い、学習内容を活用する機会を設けることで、主体的に社会に関わる態度を養うよう配慮されている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 地理や歴史との関連を左下に表示し、最後に「確認しよう」「説明しよう」の項目を設けて、説明できるよう配慮している。 (2) 「学習の前に」で意欲を喚起し、章や節ごとに問いを設け、振り返りを通して学びを深められるよう配慮している。 (3) 「Yes No」では多面的・多角的な考察を促し、「技能をみがく」では意見を整理する技能の習得ができるよう配慮している。 (4) イラストや資料の読み取り作業を通して考えを整理し、「章の学習を振り返ろう」や「アクティブ公民」では、社会的な見方・考え方を活用する学習ができるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 基礎的・基本的な内容を習得した上で、未来に向けて、社会参画を促すよう配慮している。 (2) 各時間の振り返りが節の問いに繋がる単元構成になっており、「指導と評価の一体化」がしやすくなるように工夫している。 (3) 全編を通じて、社会的な見方・考え方を働かせられるよう工夫され、章の振り返りでは自分の考えを整理し、意見交換をして考えを深められるよう配慮している。 (4) 「未来に向けて」などでは、人権や環境などの現代社会の課題を多く扱い、写真やグラフから社会の課題に気づき、SDGs の意義の理解を図ることができるよう配慮している。 (5) 資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設定され、主体的に活用できるよう工夫している。
全体的な特色	○ 実社会に基づいた事例を具体的に掲載し、導入や問い、単元展開を工夫して、主体的に学べるよう配慮している。 ○ 導入の工夫により、多面的・多角的な考察や構想、社会に見られる課題の解決に向けて取り組めるよう配慮している。 ○ 全ての生徒にとって読みやすい表記がなされ、文字はユニバーサルデザインフォントを用い、資料は色に配慮するとともに境界線を黒く囲って見やすくなるよう配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社 会]

種目名 [社会（公民的分野）]

発行者名 選定基準	日本文教出版（中学社会 公民的分野）
教科の目標からの配慮	○ 身近で話題性のある事例や、幅広い視野の教材を掲載し、「情報スキルアップ」では技能の習得ができるよう配慮されている。 ○ 社会的な見方・考え方を働かせやすい学習活動を設け、持続可能社会の実現に向けて考察できるよう配慮されている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 地理や歴史で学んだことを関連させるコーナーを設け、「確認」で学習内容や考察したことを説明できるよう配慮している。 (2) 社会事象をイラスト等で分かりやすく表現したり多彩な資料を掲載したりして、基礎的・基本的な知識が習得できるよう工夫している。 (3) 「シンキングツール」を随所で紹介し、編末には「チャレンジ公民」のコーナーを設けて課題を提示し、自ら問題を発見し解決する能力を養えるよう配慮している。 (4) 公民的分野に即した話題性に富む内容のSDGsを取り上げ、社会参画を促すように配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 巻頭に SDGs を示し、関連内容を全体を通して登場させ、持続可能な社会の形成に関わる意識を育めるよう配慮している。 (2) 学習課題を基に社会的な見方・考え方を働かせ、発展課題で現代社会の課題について考えられるよう配慮している。 (3) 各編特有の「見方・考え方」を一覧で示し、それらを働かせられるよう工夫され、「アクティビティ」では資料を基に追究するグループ活動を促せるよう配慮している。 (4) SDGs をはじめとする様々な教材や課題を提示し、主体的に社会に関わる力を育成できるよう配慮している。 (5) 抽象的な事象を具体的にイメージできる図版や、主な法令の内容を掲載し、指導の展開に生かせるよう配慮している。 (6) 章の終わりには「学習の整理と活用」で学習事項を確認できるよう配慮している。
全体的な特色	○ 社会参画に関わる教材が充実し、現代社会の諸課題に対して関心や追究する力を育てられるよう配慮している。 ○ 多面的・多角的に考察、構想する学習を行い、思考力・判断力・表現力等を身に付けることができるよう配慮している。 ○ 点字加工のページを設け、本文ではユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句にはルビをふり、配色も全ての生徒にとって見やすくなるよう配慮している。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [社会]

種目名 [社会（公民的分野）]

発行所	主な特色
教育出版（中学社会 公民とともに生きる）	○ 資料を基に議論や論述など言語活動に取り組む中で、思考力・判断力・表現力等を養うことができるよう配慮している。 ○ 学習の意義や学び方、視点となる SDGs について紹介するページや人々の様々な活動場面の写真を掲載し、身近な生活と関わらせて学習内容が想起できるよう配慮している。 ○ 各章の終わりの「学習のまとめと表現」では、基礎、基本の定着を図るとともに、思考ツールなど資料を活用して課題に取り組むことで章全体の学習を整理できるよう配慮している。
自由社（新しい公民教科書）	○ 日本の伝統や平和などを詳しく扱う特設コーナーを設け、課題を主体的に解決しようとする態度が養われるよう配慮している。 ○ やってみよう」のコーナーで、学んだことを基に話し合ったり、書き出したりする活動を取り入れ、現代社会の課題や特色に対して主体的・対話的に学習できるよう配慮している。 ○ 各項の最後の「ここがポイント」に、1時間の学習内容を箇条書きし、授業の振り返りをする際にまとめやすくなるよう配慮している。
育鵬社（新しいみんなの公民）	○ 社会の諸問題を自分と関連付けて考えていくために、生徒が生活目線で考え、判断し、学びを深められるよう配慮している。 ○ 各章の最初に「入り口」、最後に「これから」というページを設け、各章で学ぶことを自分の生活と関連付けて考えられるよう配慮している。 ○ 「やってみよう」のページで前項までに学習したことを参考に小集団による話し合いやシミュレーションなどを掲載し、社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう配慮している。

【 地 図 】

東京書籍

帝国書院

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社 会]

種目名 [地 図]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい社会 地図）
教科の目標からの配慮	○ 地図とともに写真やグラフなどの資料を豊富に掲載し、世界各地や日本の姿を理解できるよう構成している。 ○ 教科書と連携して、関連する資料に掲載し、地域的特色を多面的・多角的に考察できるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 地域の産物を示したページでは、写真を大きく掲載して地域的特色が読み取りやすいよう配慮している。 (2) 資料をテーマに沿って豊富に掲載し、教科書で学んだ内容について発展的に学習できる資料集として、主体的に活用できるよう配慮している。 (3) 世界の現代的諸課題について様々な資料や写真を掲載し、世界や日本についての最新の情報を理解しやすいよう配慮している。 (4) 各地方の減言語や産業、防災等関連資料を同ページに掲載し、「Bee's eye」が活動例を示すことで、資料を関連付けて思考できるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 「テーマ資料」という形で、教科書の資料と連携して様々な地図や資料をテーマに沿って掲載し、学習の展開に合わせて効果的に活用できるよう配慮している。 (2) 各地方の言語や産業、防災など、関連する資料を同じページに掲載し、「ジャンプ」の欄に関連する資料の参照ページを示して、複数の資料を関連させることができるよう配慮している。 (3) SDGs、環境問題や貧困問題など、世界が抱える最新の実態と課題を掲載し、防災、観光といった日本が抱える現代的諸課題についても理解できるよう配慮している。 (4) 古代のジオラマや江戸時代の絵地図、近代の歴史的建造物やオリンピックに関連する写真を掲載し、歴史や公民の教科書と連携した学習ができるよう配慮している。
全体的な特色	○ 地図とともに豊富な資料を掲載し、世界や日本の地理的特色、現代的諸課題が把握できるよう構成している。 ○ 地理や歴史、公民の教科書と連携した内容の地図や資料を掲載し、関連した学習ができるよう配慮している。 ○ 資料は縮尺をそろえ、写真やグラフを大きく掲載し、明るい色使いやユニバーサルデザインフォントにより、地域的特色を理解しやすいよう配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [社 会]

種目名 [地 図]

発行者名 選定基準	帝国書院（中学校社会科地図）
教科の目標からの配慮	○ 世界や日本の地図と多様な資料、情報を掲載し、幅広い知識や教養を身に付けられるよう構成している。 ○ 地図や資料の活用例を示し、地域的特色について調べたり発表したりしやすいよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 地名や地域区分を明確に掲載し、各国の産物や文化・宗教等を複数の写真やイラストで示す等、地域的特色が読み取りやすいよう工夫している。 (2) 地図と関連した情報を資料化し読み取りやすく掲載したり、「地図で発見」のコーナーに活動例を示したりするなど、興味関心を高め主体的に学習できるよう配慮している。 (3) 見開き 2 ページの中に関連する地図や資料を配置して、地域的特色を理解できるよう配慮している。 (4) 全体的に色使いが明るく、統計のページでは項目の数字を色分けする等、見やすくまた読みやすく工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 気候と農業や、地域によって異なる工業の様子等、地域ごとに中核となる事象に沿って地図や資料を配置し、授業の展開に沿ってそれらが効果的に活用できるよう配慮している。 (2) どの地域も、地図の次に資料がくるよう構成し、関連する地図や資料を同じ縮尺で表し、統計資料は巻末にまとめて掲載することで、比較しやすく、関連付けて考察できるよう配慮している。 (3) 巻頭では世界の抱える諸課題を、日本の諸地域では防災や観光、オリンピック・パラリンピックについての資料を掲載し、最新の社会的事象や課題について考えられるよう工夫している。 (4) 多様な地図や資料を見開き 2 ページ内に収め、活用例を「地図活用」で示し、日本の都市の詳細な地図も掲載することで、体験的な学習や調査に対応できるよう配慮している。
全体的な特色	○ 多様な地図や資料を見開き 2 ページ内に掲載し、比較したり関連付けたりしながら思考が広がるようよく配慮している。 ○ 教科書の発展的な内容の地図や資料を掲載するだけでなく、地図帳を使って多様な学習ができるようよく配慮している。 ○ 地方ごとの地図の範囲や資料が大きく、統計のページでは上位の項目の数字を色分けするなど、より見やすくまた読み取りやすくなるようよく配慮している。

【 数 学 】

東京書籍

大日本図書

学校図書

教育出版

啓林館

数研出版

日本文教出版

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [数 学]

種目名 [数 学]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～）
教科の目標からの配慮	○ 個に応じて学習できる問題や繰り返し学習できる問題を構成することで、知識及び技能が身に付けられるよう配慮している。 ○ 身近な事象から「数学的な見方・考え方」を働かせ、数学的活動を通して考察する力や数学的表現が高まるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) つまずきへの手立てとして、解答だけでなく「ヒント」や「類題」が用意されていたり、補充問題が充実していたりするなど、自己調整しながら学習できるよう配慮している。 (2) 身近な事象から単元を貫く題材を設定し、問題発見・解決を繰り返すことで、興味・関心をもち学べるよう工夫している。 (3) 「問題発見・解決の過程」に沿った数学的活動に取り組むことで、問題発見・解決能力を高めることができるよう工夫している。 (4) 算数と数学の学びのつながりを生徒が自覚できるようにし、問題解決で働かせた「数学的な見方・考え方」を他の問題で生かせるよう工夫している。 (5) 各ページの「問」に配置された二次元コードを利用して、個に応じた学びの振り返りができるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 章とびらでは、章の学習を通して身に付けたい資質・能力が明確になるように文章やタイトルで表現するなど工夫している。 (2) 問題解決に向けて、既習事項を関連付けたり進め方を系統化したりすることで、問題解決力が高められるよう配慮している。 (3) 生徒の会話から、「数学的な見方・考え方」を働かせ、主体的・対話的な活動を促すよう配慮している。 (4) 学習に関連した読み物や他教科と関連のある題材、社会で数学を活用している人の紹介をマークで示し、さらに関わる問題を示すことで、数学のよさや有用性を実感できるよう配慮している。 (5) 章の導入に配置された二次元コードでは、生徒の興味関心をひくような資料があり、問題解決に生かせるよう工夫している。 (6) 節ごとの「学びをふり返ろう」や章の「ふり返りレポート」のコーナーを設け、働かせた見方・考え方を振り返ることで生徒の学びの自己調整につなげるとともに、「主体的に学習に取り組む態度」の評価に活用できるよう工夫している。
全体的な特色	○ 問題発見・解決の過程を提示し、「数学的な見方・考え方」を働かせながら解決する力を付けられるよう工夫している。 ○ 「数学の目でふり返ろう」で、単元を通して学んだことを振り返ったり、次の学年につなげたりできるよう配慮している。 ○ 色覚特性に対応するユニバーサルデザインやルビに読みやすいユニバーサルフォントを使用し、さらに、生徒の負担や環境を考慮した紙やインクを使う配慮をしている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [数 学]

種目名 [数 学]

発行者名 選定基準	学校図書（中学校数学）
教科の目標からの配慮	○ 既習事項を振り返りながら基礎的・基本的な内容を繰り返し学習し、知識及び技能が習得できるよう配慮している。 ○ 身の回りで数学が役立っている場面を取り上げ、生活や社会に生かそうとする態度を養えるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 「節の扉」で身近な場面から疑問を発見し、数学化・焦点化した問題としつつ見通しを持って追究できるよう構成され、「次の課題へ！」という標識を設けることで、数学の学習過程のサイクルが回る展開となるよう工夫している。 (2) 単元の中の「Q」において生徒自ら目標を設定し、解決の見通しを立てることにより、主体的な活動となるよう配慮している。 (3) 話し合いの活動を随所に取り入れ、説明する力を伸ばすことで理解を確かなものにし、協働的に学ぶことで理解を深めたりできるよう工夫している。 (4) 扉の前の「ふりかえり」のページ、振り返りのための二次元コード、単元末にできるようになったことをチェックするページなどがあり、既習内容が定着できるよう配慮している。 (5) 巻末に「見方・考え方をまとめよう」のページを設け代表的な見方・考え方を整理することで、今後の学習でどのような観点で見方・考え方を働かせると良いか意識できるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) どの単元においても、既習内容を活用して問題を解き、生活に生かしていく流れになるよう工夫している。 (2) 章の配列が生徒の発達に即して系統化されており、図、式、説明なども理解の手助けとなるよう工夫している。 (3) 各学年の巻頭に「ノートの手書き」のページを設け、知識・技能の育成を目指すとともに、教科書全体で自学自習ができるよう配慮している。 (4) 各章の「深めよう」のページにおいて、領域横断、教科等横断的な学習に取り組むことができるよう配慮している。 (5) 「用語・記号の由来」のコラムや、身の回りにある建造物などの写真を取り上げたり、二次元コードを配置し、ICTを活用したりして指導に生かせるよう配慮している。 (6) 章の最後に「一次関数を学んで」のようなページを設けたり、巻末にルーズリーフによる自己評価表を掲載したりと、生徒が自分の学びを客観的に振り返るとともに、学習への意欲を更に高められるよう工夫している。
全体的な特色	○ 日常事象から数学の問題を見だし、「数学的な見方・考え方」を働かせながら、解決する力を付けられるよう工夫している。 ○ 「数学的な見方・考え方」を働かせた対話が明示され、論理的、統合的・発展的に学習に取り組めるよう配慮している。 ○ 全体的に落ち着いた色合いで構成されており、使われているイラストも手描きのような柔らかなタッチで、視覚的に見やすく、また読みやすくなるよう配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [数 学]

種目名 [数 学]

発行者名 選定基準	啓林館(未来へひろがる数学)
教科の目標からの配慮	○ 身の回りの事象を取り上げ、興味をもって主体的に学習に取り組む、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫している。 ○ 具体から抽象、抽象から具体を繰り返し示すことで「数学的な見方・考え方」を働かせ、考察する力・表現する力が高まるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 単元に応じて流れや紙面構成を工夫し、PDCA サイクルや PPDAC サイクルを意識した学習ができるようによく配慮している。 (2) 「ふりかえり」で既習内容の学び直しをしたり、「学びをたしかめよう」で既習事項や見返しポイントが示されたりして、反復学習ができるよう工夫している。 (3) 身の回りや数学の事象から見いだした問題を、既習事項を活用していろいろな考えを使って表現できるよう工夫している。 (4) 問題発見と問題解決をステップ方式で示し、自分で問題を発見し、解決の過程を振り返って深めることができるようよく工夫している。 (5) SDGs を意識しており、性別・人種・多様性に配慮したイラストを使用し、生徒が互いに尊重しながら活動できるようによく配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) まとまりある内容で単元が構成され、基礎的・基本的な内容に重点をおき個に応じて必要な練習ができるよう配慮している。 (2) 「学びをふりかえろう」では、学びたい単元が復習しやすく、知識及び技能について他の領域と関連付けながら指導できるよう工夫している。 (3) 全国学力・学習状況調査で判明した生徒の課題について、条件を変えて考える場面も設け、統合的・発展的に考える力を身に付けられるようよく工夫している。 (4) 章末や巻末の練習問題で、章の内容を確認する問題と発展的な問題を配置するとともに、二次元コードのリンクコンテンツの充実により個々の力や関心に応じ補充・発展できるよう工夫している。 (5) 「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」では、既習内容の学び直しや、思考力を鍛える問題など習熟の程度に応じて学習できるようによく工夫している。 (6) 「ノートをくふうして、学習に役立てよう」では、ノートのまとめ方や学びの振り返り方が指導できるよう配慮している。
全体的な特色	○ 「学びをいかそう」では、学習した数学を使って身の回りの問題を解決する問題や更に発展させた問題が取り上げられており、興味をもって追究できるようによく配慮している。 ○ 問題を発見・解決し、その過程を振り返って評価・改善を図ったり、新たな問題を設定したりできるように工夫している。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用、見やすい配色など、様々な特性を踏まえて、学習への理解がしやすくなるように工夫している。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [数 学]

種目名 [数 学]

発 行 所	主 な 特 色
数研出版（改訂版 これからの数学）	○ 章の最初に既習内容の振り返りを行うことで、知識及び技能を習得できるよう配慮している。 ○ 身近な事象で生徒の興味・関心を喚起し、生徒と教師の対話を基に、自らの課題や解決に向けての見通しをもち、その過程や結果を評価・改善する活動ができるように工夫している。 ○ 二次元コードに、数学的な用語の検索・視覚的支援・補充問題などのコンテンツがあり、個々の主体的な学びを支えられるよう配慮している。
大日本図書（数学の世界）	○ 数学を学ぶよさ、多様な「数学的な見方・考え方」を実感し、よりよく物事を解決していく態度を養えるよう配慮している。 ○ 身近な事象について「考えよう」、「めあて」という流れで興味・関心を喚起し、複数のキャラクターの考えや「Q1」、「判断しよう」等で自ら「数学的な見方・考え方」を働かせることができるよう工夫している。 ○ 数学的な表現を用いて説明し、伝えあう活動を通して、身に付けた知識及び技能を活用できる構成となるよう配慮している。
日本文教出版（中学数学）	○ 個に応じて取り組める問題や、話し合いや説明を求めるなど、主体的に学習に取り組む態度を養えるよう配慮している。 ○ 身近な事象を問題として扱い、自身の経験や既習内容と結びつけ、生徒が数学のよさを実感できるよう配慮している。 ○ 「振り返りシート」「対話シート」では、理解の確認や学習したことよさに気付くことを促す質問があり、まとめの観点が明確になるように工夫している。
教育出版（中学数学）	○ 学習した知識及び技能のよさを実感できるよう、日常生活につなげた問題に取り組めるよう配慮している。 ○ 問題解決への学習活動の流れを示し、数理的に捉えていく過程を体験することで、課題解決力の高まりを実感できるよう配慮している。 ○ 「もどって確認」では、学習を進める上で必要な用語が書かれており、個々の生徒に応じた学習に活かすことができるよう配慮している。

【 理 科 】

東京書籍

大日本図書

学校図書

教育出版

啓林館

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [理 科]

種目名 [理 科]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい科学）
教科の目標からの配慮	○ 探究の過程に沿った構成になるように、「問題発見」「？（課題）」などから始まるように配列されており、探究の過程に沿った構成により、科学的な思考力、判断力、表現力が育成されるように配慮している。 ○ 「Before&After」のワークシートを使って単元の振り返りをするすることで、生徒自身が学習成果を確かめ、自らの成長を実感できるように工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 「検討改善」「分析解釈」など思考する場面において、対話例を効果的に位置づけ、生徒のつまづきを支援するとともに、協働的、対話的な学習活動を促すように配慮している。 (2) 探究の「仮説」場面では、仮説につながる「これまでに学んだこと」が示されており、既有経験や知識を基にしながら、生徒自らが考え、探究活動ができるように工夫している。 (3) 巻頭の「科学の本だな」で推薦図書を紹介したり、二次元コードを用いて実験動画や様々な資料を準備することで、個別学習に対応したり学習意欲を高めたりする配慮をしている。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 長野県の季節に合わせて生物教材の観察や気象観測などの単元を配列し、季節に応じた学習ができるように工夫している。 (2) 観察・実験の手順が明確に示す場面では、安全メガネや換気などの注意点をアイコンで明確に示し、観察・実験が安全に実施できるよう配慮している。 (3) 図や写真、身近なものへとつなげるコラムを掲載し、日常生活と科学とのつながりを実感しやすくできるように配慮している。
全体的な特色	○ 「章末チェック」や単元末の「内容整理」「確かめ問題」「活用問題」が丁寧に記載されており、知識及び技能の定着が図れるように配慮をしている。 ○ 身近な題材を取りあげ、写真やイラスト、デジタルコンテンツを充実させることにより、生徒の興味・関心を高め、主体的に学ぶ態度を育むように配慮している。 ○ 視認性の高い注意マークや単元末のまとめでは全ての漢字に振り仮名をつけるなど、ユニバーサルデザインに配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [理 科]

種目名 [理 科]

発行者名 選定基準	教育出版（自然の探求 中学理科）
教科の目標からの配慮	○ 「要点と重要語句の整理」や「基本問題」「活用問題」などを配置し、知識及び技能の定着が図れるように配慮している。 ○ 「探究の進め方」を示し、疑問から考察、結論に至る具体的な流れを示すことで、探究する力が育成されるように配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 単元の導入で学んでいくことが端的に書かれており、見通しがもちやすいように配慮している。また「結論」も 2 行程度で明確に示されており、生徒の理解を助けている。 (2) 導入場面に、対話形式の挿絵が用いられており、既習内容を想起させ、つまずきへの支援となっている。また、結論場面でも同様の挿絵により学習をふりかえることができるように配慮している。 (3) 重要語句や実験の注意点は、視認しやすい朱色の文字で書かれており、定着を図り注意喚起を促すように配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 思考場面の多い物理分野を最後に配置することで、1 年間学んだ探究の仕方を活かして考察を深められるように、単元配列に配慮している。 (2) 二次元コードから「まなびリンク」や「web ずかん」に接続してデジタルコンテンツを見られるようになっており、導入や結果の振り返り等で活用できるように配慮している。 (3) 「ハローサイエンス」や「科学者列伝」、章末の「広がる科学の世界」などで、科学の歴史や発展的な内容が書かれており、より深い知識に触れられるように配慮している。
全体的な特色	○ 環境を扱う単元の「ハローサイエンス」(コラム記事)では、SDGs の観点を示し、今日的な課題を扱うように配慮している。 ○ 写真を豊富に配置し、文章を短く端的にまとめることで、生徒の理解を助けるように配慮している。 ○ 教科書本文のフォントが大きく、重要語句や注意は認識しやすい朱色の文字で表現されユニバーサルデザインに配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [理 科]

種目名 [理 科]

発行者名 選定基準	啓林館（未来へひろがる サイエンス）
教科の目標からの配慮	○ 実験場面では「実験のスキル」によって細かい解説を行い、章末には「学習のまとめ」「力だめし」を掲載して、知識及び技能の定着が図れるように配慮している。 ○ 多様な科学コラムを掲載することにより、日常生活と科学のつながりを意識して主体的に学べるように配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 既習内容が「つながる学び」として掲載され、それまでの学習を想起した上で、新たな学習に取り組めるように配慮している。 (2) 探究を重視する観察、実験では、巻末に切り取り可能な「探Qシート」を設け、生徒が計画、結果、考察の手順を踏みながら、主体的に探究できるように配慮している。 (3) 「サイエンス資料」を学習内容の近い場所に掲載し、探究に必要な観察、実験の技能などを振り返りながら学ぶことができるように工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各学年とも生命、地球、物質、エネルギーの順に単元が構成され、見通しを持った計画ができるように配慮している。 (2) 「探Q実験」「探Q実習」として、科学的に探究する道筋が例として示されており、生徒が主体的に探究する力を育成できるように工夫している。 (3) 単元のはじめに「学ぶ前にトライ!」、終末に「学んだ後にリトライ!」を配置して、「ふり返りシート」とリンクさせることで、単元の前後的な自分の変容を捉えることができるようになっており、評価に活用できるように配慮している。
全体的な特色	○ 随所に配置されている二次元コードを生徒自身が読み込み、動画等のデジタルコンテンツにアクセスして、多様な学び方ができるように配慮している。 ○ 科学コラムとして「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」など生活に即した話題を提供することで、生徒の興味を引くように工夫している。 ○ 本文を教科書の中心に寄せ、一行の長さをページの半分程度にすることで、視線の移動距離を短くして、視覚的なユニバーサルデザインに配慮している。

様式 B

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [理 科]

種目名 [理 科]

発 行 所	主 な 特 色
学校図書（中学校 科学）	○ 実験や観察の後に「理路整然」を掲載して、科学的に探究することの意味を解説することで、意欲的に探究する態度を養うように配慮している。 ○ 「ふり返ろう」「つなげよう」で、単元における既習事項を確認することができ、生徒の予想や考えを想定した上で授業計画を立てられるように配慮している。 ○ 各単元のはじめに設定されている「Can-Do List」で、育成すべき資質・能力が示され、生徒自身が単元の学習内容に見通しもち、学習できるように配慮している。
大日本図書（理科の世界）	○ 「錆」については「穏やかな酸化」として新たに項目を立てて取り上げ、日常生活と科学を結びつけて示すなど、生徒の知的好奇心を高め、科学的に探究する態度が育つように工夫している。 ○ 実験や観察の次のページに「結果の例」「結果からわかること」を示し、生徒自身で結果を考察したり対話的な学びをしたりすることができるように配慮している。 ○ 単元の始めに「これまで学習したこと」を写真やイラストつきで掲載して、生徒が既習内容と関連付けて学べるように配慮している。

【 音 樂 】

（一般）

教育出版

教育芸術社

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [音楽]

種目名 [一般]

発行者名 選定基準	教育出版（中学音楽 音楽のおくりもの）
教科の目標からの配慮	○ 各教材に示された学習のめあてをもとに、生徒が主体的に表現や鑑賞の学習を進められるように配慮がなされている。 ○ 「音楽を形づくっている要素」が、目次や巻末などに明示され、その働きを意識しながら「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習できるよう、配慮がなされている。
児童の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 「学習 MAP」及び「学習の進め方」で、各楽曲におけるねらいや学習活動を示すことで、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう配慮がなされている。 (2) 表現（歌唱）、鑑賞において、共通点のある曲を並べて配置し、比較しながら活動を展開できるようにすることで、生徒が興味・関心をもって音楽の特徴や共通点、相違点を理解できるよう工夫がなされている。 (3) 楽曲の特徴や個の考え、意見交流を通して考えたこと、全体での考えなどが書き込めるようになっており、協働的に学び、理解が深まるよう工夫がなされている。 (4) 鑑賞では、多様な音楽が配置され、日本と世界の音楽や楽器を聞き比べる活動や、歌ったり体験したりする活動、個で調べる等の様々な活動を通して、音楽のよさや美しさを感じ取れるよう工夫がなされている。 (5) 適度に空白を残したレイアウトと、白地の背景を基調とした統一感のある配色、メリハリのある字体と色で必要な情報が目に入り、曲の構成なども分かりやすく表示され、学習意欲を高めるよう配慮がなされている。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 曲想と音楽・音楽の構造などとの関わりについて、理解しやすい教材が配列されており、学習が無理なく進められるよう配慮がなされている。 (2) 各題材内で、関連・対照・対比を考慮して教材が配列されており、それらを組み合わせることで、学習がより深まるよう配慮がなされている。 (3) 「Active!」〈表現の仕方を工夫しよう〉〈話し合おう〉に沿って学習を進めることで、生徒が課題意識を持ち、主体的に取り組んだり、考えたことを互いに交流したりできるよう工夫がなされている。 (4) 地域に伝わる伝統芸能や世界の音楽について、歴史や背景、特徴等について詳しく解説され、また体験的に活動できる教材も盛り込まれており、生徒が興味を持って学習できるよう配慮がなされている。 (5) 曲の情景やイメージに関わる写真・図・挿絵を提示し、生徒が情景を思い浮かべて表現したり、イメージをもって鑑賞したりできるように工夫がなされている。 (6) 「学習のすすめ方」「どんな特徴があるかな」を必要に応じて確認することで、学習内容を随時振り返ることができるよう工夫がなされている。
全体的な特色	○ 生徒の興味関心を引き出し理解が深まるよう、比較しながら学習するページが多く設けられており、生徒が主体的に音楽活動に参加し、対話的・協働的な学習活動ができるよう工夫がなされている。 ○ 挿絵や絵画、当時の写真などを用い、作者の生きていた時代の情景を想像し、音楽への理解を深められるように工夫がなされている。 ○ 判読性・視認性の高い配色とレイアウトなどが使われ、ユニバーサルデザインの配慮がなされている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [音楽]

種目名 [一般]

発行者名 選定基準	教育芸術社（中学生の音楽）
教科の目標からの配慮	○ 各教材に学習目標、活動内容を明示し、生徒が見通しを持って主体的に表現や鑑賞の学習を進められるよう、配慮がなされている。 ○ 各教材や、巻末、目次などに音楽を形づくっている要素が明示され、それを視点として「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習が進められるよう配慮がなされている。
児童の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 楽曲や歌詞の内容、音域などについて発達段階に応じた学習内容を系統的に配列し、目次に続くページでは、音楽科の目標や学習内容を示すことで、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 (2) 詩に込められた思いや曲の背景と、音楽の特徴との関連に気づかせる説明や学習活動の手順、ヒントを多く盛り込み、生徒の興味・関心を高めながら音楽への理解が深まるよう工夫がなされている。 (3) 豊富な資料やキャラクターの問いかけを活用したり、二次元コードからパートや譜例の音源を活用したりしながら、生徒が音楽的な見方、考え方を働かせながら、主体的に深い学びができるよう配慮がなされている。 (4) 鑑賞では、多様な楽曲が配置され、写真や説明でその楽曲への理解を深め、聞き比べる活動や体験する活動を通して、音楽のよさや美しさを味わうことができるようにしている。 (5) 情景を想起できるような写真や資料の豊富な掲載、音楽を形づくっている要素や、曲の構成や音の高さに注目できるような楽譜の表示などが工夫されており、学習内容の理解を深めるよう配慮がなされている。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 歌唱や創作の技能の習得について、発達段階を考慮した無理のないステップで指導計画を作成できるよう配慮がなされている。 (2) 「学びのコンパス」に沿って学習を進めることで、見通しを持って段階的に学習を深められるよう工夫がなされている。 (3) 各教材の最初の吹き出しに、考えたいポイントについて明記されており、それをもとに生徒が課題意識を持ち、主体的に学習に取り組めるよう、配慮がなされている。 (4) 地域に伝わる伝統芸能や、生活の中の音・音楽などの教材を幅広く取り上げ、国や地域の音楽に愛着が持てるよう配慮がなされている。 (5) 鑑賞では、指揮絵譜等を用いた伝統的な歌唱の謡など、体験活動を取り入れて実感を伴って学べるように工夫されている。 (6) 巻末の「音楽の学びを振り返ろう」で音楽を形づくっている要素をもとに振り返りができるよう、工夫がなされている。
全体的な特色	○ 我が国や郷土の伝統音楽や世界の様々な音楽や、生活や社会の中の音や音楽の果たす役割についてのページが充実しており、音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成できるようよく配慮がなされている。 ○ それぞれの教材でどのような力がつくのか示され、生徒が見通しを持って学習することができるよう工夫がなされている。 ○ UD フォントが楽譜中の歌詞にも使用され、図やイラストについては色覚特性に配慮されているなど、すべての生徒が使いやすく編集されている。

【 音 樂 】

(器樂合奏)

教育出版

教育藝術社

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [音楽]

種目名 [器楽]

発行者名 選定基準	教育出版（中学器楽 音楽のおくりもの）
教科の目標からの配慮	○ 「表現の仕方を調べてみよう」といった活動を設け、生徒が自ら調べ、考え、議論し、表現する力を養えるように工夫がなされ、音楽に対する理解を深めることができるよう配慮がなされている。 ○ 学習進度に応じた個別最適な学びを支援するためデジタル教材があり、全ての生徒が豊かな情操を養えるよう配慮がなされている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 発達段階に合わせ小学校で学習した内容とのつながりを示し、既習内容を踏まえて学習できるよう配慮がなされている。 (2) 演奏の技能を向上させることに焦点をあてた教材から配列し、基本的な奏法を身につけられるよう配慮がなされている。 (3) 楽曲を比較して鑑賞したり、同属楽器の表現の特徴を調べたり、主体的・創造的に学習ができるよう配慮がなされている。 (4) 音楽づくりや、現代の音楽文化に関する内容では、生徒が多様な活動ができるよう、身近な題材や現代的な題材、興味深いテーマを用意するなどの工夫がなされている。 (5) デジタル教材を活用し音声読み上げ機能、総ルビ表示、文字サイズ変更機能、書体変更機能、色変更機能等、多様な生徒に対応して学習を多角的にサポートしている。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 運指等の写真や動画を使い容易な曲から技能の向上を図り、さらに音楽的な感性を高める難易度の高い曲が用意され、系統的な題材配列がなされている。 (2) 様々なジャンルから精選された楽曲が用意されると共に、鑑賞領域とも関連を図れるよう工夫がなされている。 (3) 伝統音楽や西洋音楽に加え、現代の音楽文化を反映した題材や、生徒にとって身近な題材を取り入れることで、音楽に対する興味関心を高め、主体的に取り組みながら「音楽的な見方・考え方」を働かせながら多様な体験ができるよう工夫がなされている。 (4) 楽器の奏法や運指などが、段階に応じて写真やイラストで分かりやすく示されており、生徒の個人差や幅広い経験に応じた指導ができるよう配慮がなされている。 (5) 世界の音楽の写真が数多く掲載されており、各国の音楽文化に豊かに関わることができるように工夫されている。 (6) 学習のポイントを評価の観点とし、自己の活動を振り返り学習のまとめができるよう工夫がなされている。
全体的な特色	○ 各楽器に適した学習の進め方や、資質・能力を育むために精選された教材を通して、主体的な学びを促進することに配慮がなされている。 ○ 伝統音楽や和楽器に関する写真、リコーダーなどの楽器と文化や伝統を関連付けた写真も掲載されている。その他、生徒が学習に活用できるデジタル教材も充実している。 ○ 判読性・視認性の高い配色やレイアウトが工夫されており、ユニバーサルデザインの配慮がされている。

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [音楽]

種目名 [器楽]

発行者名 選定基準	教育芸術社(中学生の器楽)
教科の目標からの配慮	○ 具体的な学習活動例が教材ごとに記載されており、生徒が主体的に学習を進められるように工夫がなされている。 ○ 楽器の奏法や種類、関連した鑑賞曲等が多面的に紹介されており、生徒の多様な興味・関心を引き出し、主体的に取り組めるよう工夫がなされている。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 学習活動に迫るための具体的な学習活動例や表現のヒントが教材ごとに示され、発達段階に合わせて主体的・創造的な活動が進められるよう工夫がなされている。 (2) 生徒が個々の実態に合わせて基礎的な技能を習得するとともに、初めて取り組む楽器においても小学校での学びを生かして無理なく取り組めるよう配慮がなされている。 (3) 教科書紙面だけでなく、二次元コードでアクセスできるデジタルコンテンツが豊富に用意され、生徒が興味・関心に応じて主体的・創造的な活動ができるよう工夫がなされている。 (4) 楽器ごとに参考曲や様々な演奏形態の写真の提示があったり、小学校の「音楽づくり」の学習内容を踏えた創作の学習が設定されていたりと、表現と鑑賞を一体化させながら、多様な音楽活動が実現できるよう工夫されている。 (5) 色の見分けがつきにくい生徒の特性も考慮した配色を用い、可読性、可視性を高めユニバーサルデザインにも配慮がなされている。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 小学校で習得した知識・技能を繰り返し確認できるように配慮したり、楽器の奏法についても基礎的な事項を丁寧に扱ったり、無理なく系統的に学んでいけるよう工夫がなされている。 (2) 鑑賞等で学んだ作品を楽器で演奏できるよう楽譜が示され、これまでの学びを生かせるように工夫がなされている。 (3) 基礎的な事項を学んだ後に、「アンサンブルセミナー」で発展的内容を扱えるように配列されており、パートの役割を理解して「音楽的な見方・考え方」を働かせながら、対話的・協働的な学びになるよう工夫がなされている。 (4) 様々な楽器編成に対応できるよう編曲が工夫され、各校の実情に応じた単元の展開を組むと共に、個々のペースで学習を進める等、個に応じた支援ができる弾力性を有している。 (5) 楽器の奏法や特徴が見やすい写真や図で説明されており、効率的に学習が進められるよう工夫がなされている。 (6) 学習目標や活動文に加えて「演奏のポイント」や「学びのコンパス」が示されており、自己評価をしながら学習を進められるように工夫がなされている。
全体的な特色	○ 音楽の幅広い知識や技能を身につけ、主体的・対話的で深い学びを実現することによって得られる、汎用性の高い学力が身につくよう配慮がなされている。 ○ ICT 機器を活用し、学習に役立つコンテンツへアクセスできるようになっており、生徒の音楽への興味・関心を高め、すべての生徒が音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力を育むことができるよう配慮がなされている。 ○ 可読性・視認性の高いフォントや色彩が使用され、細部にわたってユニバーサルデザインへの配慮がなされている。

【 美 術 】

開隆堂

光村図書

日本文教出版

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 2 2 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [美術]

種目名 [美術]

発行者名	開隆堂（美術）
選定基準	
教科の目標からの配慮	○ 様々なスタイルや素材で表現された作品を見開き等で大きく提示し、生徒たちが興味を持ち、主体的に学ぶことができるよう配慮している。 ○ 題材「イメージを形にして(抽象彫刻)」では、掲載された作品の制作過程が具体的に紹介されており、また「語る彫刻」では生徒の描いたイメージが段階的に紹介される等、生徒たちが発想・構想を豊かに練りながら、主体的に主題を生み出していけるよう充分配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 生徒たちが興味を抱く最先端のアーティストを紹介し、各学年の発達段階に応じた表現が意欲的に追求されるよう工夫している。 (2) QRコードを読み取ることで、各題材の作品制作に関する動画やワークシート等の資料を即参照できるよう工夫されており、生徒たちが主体的に学習を展開していけるよう配慮している。 (3) 安全に配慮しつつ制作に取り組めるよう、注意喚起マークや「学びの資料」ページで道具の扱い等について丁寧に示し、配慮のポイントが伝わりやすくなるよう工夫している。 (4) 生徒たちが明るい笑顔で友と協働的に学ぶ写真が数多く掲載され、仲間のよさを認め合いながら創作活動に臨む意欲が向上するよう充分配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 全ての題材で、3観点に関する目標が簡潔に示され、生徒たちが見通しを持って学習に取り組んだり、観点に沿って学びを振り返ったり、自分の言葉で作品に関するコメントを書いたりすることができるよう工夫している。 (2) 作品画像に添えて「作者のことば」も紹介されており、表現と鑑賞を相互に関連付けながら指導を行うことができるよう十分配慮している。 (3) 学習段階におけるアドバイスや発問をキャラクターの吹き出しで提示したり、各写真を比較しながら閲覧できるように配置したりし、各題材の導入を効果的に行うことができるよう工夫している。 (4) 集団で活動に臨む画像が複数掲載されており、作品の見方や感じ方を広げていくための「学び合い」が設定しやすくなるよう工夫している。 (5) 巻末に掲載されている「学びの資料」で、障がい者や高齢者と交流する中で芽生える他者理解やSDGsの必要性が示されており、よく配慮されている。
全体的な特色	○ 各題材につき3～4ページを使用し、適切な資料を系統的に示しながら、大変丁寧に作品制作が進められるよう構成されている。授業を進めていく際、制作の全体像を明確にイメージしつつ進めることができるよう配慮している。 ○ 制作作品の変遷や、中間制作物を利用した構想過程を提示し、視覚的な要素から制作意図を感じ取れるようレイアウトを工夫している。 ○ 中学校以降で学習する漢字には必ずルビがふられ、ユニバーサルデザインフォントも採用し、紙面の見やすさや伝わりやすさに配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 2 2 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [美術]

種目名 [美術]

発行者名	光村図書（美術）
選定基準	
教科の目標からの配慮	○ 本教科書は主要 2 冊＋資料 1 冊で構成されている。主要 2 冊は学年の段階に合わせた題材が幅広く紹介されており、資料には知識・技能に関わる内容が整理され、掲載されている。 ○ 紹介されている作品について、制作した生徒の言葉も添えられており、その制作に関する思いや工夫点についての具体的な記述から、ものの見方や考え方について自分なりに考えながら制作を進められるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 発想・構想の段階で参考となるよう多様な完成作品を写真で例示し、生徒が作成した作例には、その制作過程の紹介を載せ、生徒たちがイメージを膨らませながら制作を進めることができるよう工夫している。 (2) 「体感ミュージアム」と題されたページでは、二次元コードを活用しながら資料作品の写真に書き込んだり、解説動画を見たりしながら効果的な鑑賞を行うことができるよう工夫している。 (3) 「体感ミュージアム」の「日本の絵画」のページは和紙と同じ材質の紙を用いて作られており、「鳥獣戯画」のページは、作品の原寸大を見開きページに収め、生徒が作品の魅力を実感しやすくなるよう配慮している。 (4) 題材ごとに写真や図版の配置や構成を統一したり、図版の間隔を空けたりしながら、紙面が見やすくなるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 各題材では、評価の 3 観点それぞれの主眼が必ず掲載されており、見通しをもって制作を進めることができるよう配慮している。 (2) 「鑑賞」「表現」それぞれの視点から問いかけや活動内容が示されており、目的と手段を明確にしながら授業を進められるよう工夫している。 (3) 「私たちに問いかける美術」という題材で、美術科の学習には様々なところに SDGs の要素があり、よりよい未来を生み出す意識を持ってほしいと生徒たちに投げかけるような工夫をしている。 (4) 生徒作品を詳しく紹介する「みんなの工夫」、重点的に鑑賞活動の資料を掲載する「体感ミュージアム」等のコーナーを設け、そこから制作を進めるためのヒントを得たり、作者のねがいを理解したりする工夫を行っている。 (5) 目次に色分けされたアイコンを付け、各項が掲載している題材の分野や、指導の分類が分かりやすくなるよう工夫している。
全体的な特色	○ 実際の授業で必要になる知識や技能を端的に示す別冊資料「つくってみよう 見てみよう」が同封されており、制作活動の手助けとなるよう工夫している。 ○ インターネットサイト「ART BY」では、本教科書に掲載している作品をはじめ、多数の中高生の作品を無料で閲覧することができる。教科書に掲載されている二次元コードからもそのサイトにアクセスし、生徒たちが即閲覧できるよう配慮している。 ○ 紹介されている作品の写真数が他社に比べて多いが、図版が密になりすぎぬよう間隔を空けて配置し、見やすい紙面となるよう工夫している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 2 2 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [美術]

種目名 [美術]

発行者名	日本文教出版（美術）
選定基準	
教科の目標からの配慮	○ 巻末の「学びを支える資料」では、様々な表現方法を紹介したり、制作のプロセスを連続写真で示したりして、知識・技能の定着に配慮している。 ○ 日常の中にある美術のよさや、作品づくりの背景にある作者の思いを紹介し、美術に親しむ態度を養うことができるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 生徒の制作過程や作家の制作の様子を紙面や動画で分かりやすく紹介し、生徒が見通しをもち、安心して制作を進めることができるよう工夫している。 (2) 单元ごと「観賞の入り口」に書かれた発問と、着目するポイントを示した「造形的な視点」により、主題を明確にもち、制作に打ち込める工夫をしている。 (3) 「表現のヒント」は、題材ごと生徒が試行錯誤しながらイメージを膨らませ、発想・構想を行うことができるよう工夫している。 (4) 「学びのはじめに」（導入動画）が題材ごとに用意しており、ICT 機器を利用し、生徒が興味をもって制作に向かうことができるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 1 学年では身近なもの、2 学年では多様な表現、3 学年では自己を見つめるというねらいのもと、3 年間で系統的に学習できるよう配慮している。 (2) 「住み続けられる町づくり」という題材において、身の回りの環境に目を向け、そこに住む人々の暮らしに思いを馳せながら SDGs について考えることができるよう工夫している。 (3) 各題材の目標と評価が明確に示され、指導と評価を一体的に扱うことができるよう配慮している。 (4) 生徒が制作した作品で、完成度の高い作品画像が数多く掲載されており、生徒たちがそれらを参考にしながら自分が制作したい作品について発想・構想を広げていけるよう配慮している。 (5) 原寸大図版を採用し、生徒が実感的に作品を理解できるよう工夫している。
全体的な特色	○ 題材ごとの目標や造形的な視点を明確に示し、生徒が主体的に学習に向かうことができるよう工夫している。 ○ 身近な生活や地域の特色を生かした題材、環境や平和、SDGs を扱った題材など、生活や社会と結びついた美術の学習を行うことができるよう配慮している。 ○ ユニバーサルフォントが、白地を基調とした紙面に色鮮やかに配置されている。また吹き出しやピクトグラムを数多く使い、明るく見やすい紙面構成となるよう配慮している。

【 保健体育 】

東京書籍

大日本図書

大修館書店

G a k k e n

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [保健体育]

種目名 [保健体育]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい保健体育）
教科の目標からの配慮	○ 日常生活での経験や既習事項を基に、多様な学習活動を通して知識及び技能を習得することができるよう工夫している。 ○ 見開きを「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」で構成し、思考力、判断力、表現力を育成できるよう工夫している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 生徒の発達段階に応じて内容を学年別に配列し、見通しをもって学習できるよう配慮している。 (2) 4つのステップで構成し、学習過程を明確にして、生徒の主体的・対話的な学びを支える工夫をしている。 (3) 体育分野や他教科との関連を明記し、単元以外の学習との関連を深めることができるよう配慮している。 (4) 口絵や章末資料、巻末スキルブックを掲載し、生徒の日常生活に生かせるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 章扉に、その章の学習に関連する小学校及び高等学校の学習内容を明記し、学習の系統性を示す工夫をしている。 (2) 章末資料の内容が、教科横断的な学習を仕組みやすいように工夫している。 (3) キーワード解説や章末問題を用意し、生徒が繰り返し習得状況を確認することができるようにしている。 (4) 写真やイラストを見ながら、自主的に学習が進められる工夫をしている。 (5) 「課題解決」や「学習のまとめ」を設定し、まとめや評価の観点が明確になるように工夫している。
全体的な特色	○ 見開き 1 ページが 1 単位時間、4 ステップで構成し、主体的に課題解決に取り組めるように工夫している。 ○ 章末資料、巻末スキルアップを示し、学習したことを発展的に深めることができるよう工夫している。 ○ 定形デザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすいよう配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [保健体育]

種目名 [保健体育]

発行者名 選定基準	大修館書店（最新 中学校保健体育）
教科の目標からの配慮	○ 見開きごとに「課題をつかむ」「今日の学習」「学習のまとめ」の 3 段階で主体的に学習に取り組めるように工夫している。 ○ 学習した知識を基に自分の考えを表現したり他者と交流したりし、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫をしている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 見開き 1 ページに、1 時間分の内容をまとめて、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮している。 (2) 学びを広げたり、深めたりするための特設資料で、生徒が主体的・対話的な学びができるよう工夫している。 (3) 各教科とのつながりを明記し、授業導入時に確認して学習が始められるよう配慮している。 (4) 本文に出てくる言葉を詳しく解説するコーナーで、生徒の学習内容の理解が深まるよう工夫している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 章扉に小学校、高等学校の学習内容を明記し、学習内容の系統化を図れるよう工夫している。 (2) 導入で、既習の体育実技や各教科での学びとの関連を捉えられるよう工夫している。 (3) 特集資料や章末問題を掲載し、日常生活の見直しや理解の定着を図られるよう配慮している。 (4) さし絵、写真、図表を基に、自分の生活をイメージしたり、社会との関わりを考えたりできるよう工夫している。 (5) 章末の 3 観点の問題で、理解の定着の確認や振り返りができ、評価の観点が明確になるよう工夫している。
全体的な特色	○ 巻頭、巻末資料や特集資料で、学習内容を広げたり、深めたりすることができるよう工夫している。 ○ 各学習内容が 3 ステップで構成し、主体的に学習が進められるよう工夫している。 ○ 全体の色彩、写真やイラストの配置や大きさも生徒が見やすいように配慮している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [保健体育]

種目名 [保健体育]

発行者名 選定基準	Gakken（新・中学保健体育）
教科の目標からの配慮	○ 身近な話題を設問に多く設定し、自らの健康を適切に管理する力を育むことができるよう配慮している。 ○ 工夫された考える課題を用いて対話的に学びを進め、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫をしている。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 写真や図とデザインで、生徒の興味・関心を高めるように配慮している。 (2) 各章末の「探求しよう」で、生徒の興味・関心に応じて、課題を解決する学習ができるよう工夫している。 (3) 身の回りにある様々な課題を取り上げ、生徒が他分野や生活等と関連付けして学習できるよう配慮している。 (4) 「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」で、生徒が 1 持間の流れをつかみやすいように配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 章扉で、学習内容の系統性を確かめ、学びのイメージがもてるよう工夫している。 (2) 興味・関心に応じて、キーワードごとに体育実技や各教科との関連を捉えられるよう工夫している。 (3) 章のまとめには、単元の理解度を確認できるように問題を設定し、知識の定着が確認できるよう配慮している。 (4) 本文が進むにつれ、本文に沿った資料を掲載し、学習の深みや説得力が生まれるよう配慮している。 (5) 1 時間の取り組みや「章のまとめ」での観点別の振り返りで、評価の観点の明確化への工夫をしている。
全体的な特色	○ 「ウォームアップ」の発問が身近な話題が多く、生徒のだれもが答えやすい内容に工夫している。 ○ 「学びを生かす」では、対話的な学びを促し、学習を定着できるように工夫している。 ○ 全ての記述にユニバーサルデザインフォントや淡色を使用し、読みやすく見やすいよう配慮している。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [保健体育]

種目名 [保健体育]

発行所	主な特色
大日本図書（中学校保健体育）	○ 協働的な学びを通じて、健康を適切に管理する資質や能力を育てるよう配慮をしている。 ○ 本文を厳選して表記し、生徒が話し合い活動に取り組みやすいように配慮している。 ○ 「話し合ってみよう」を多く設定し、対話的に学び、見方・考え方が広げられるよう工夫している。

【 技術・家庭 】

（技術分野）

東京書籍

教育図書

開隆堂

様式A

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究会

教科名 [技術・家庭]

種目名 [技術分野]

発行者名 選定基準	東京書籍(新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology)
教科の目標からの配慮	○ 様々な問題解決例を取り上げて、技術の見方・考え方を視点にしなが ら事例を考えるよう構成され、個々の課題設定や課題解決に生かす ことができるように配慮している。 ○ 持続可能な社会のありかたについて考えさせるとともに、現代社会 で問題としている課題に取り組む技術を紹介することで、生徒の興味・ 関心が高まるように配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 身の回りの問題解決から社会の問題解決まで、基礎・基本から応 用・発展へと学べるよう、単元構成を工夫している。 (2) 「問題解決例」や「社会の発展と技術」等の身近な例から、生活を工 夫し創造することができるように題材構成を工夫している。 (3) 技術に関する身近な例を掲載し、興味・関心をもった追究ができる よう工夫している。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、ガイダンス や「安全」「衛生」マークで記し、安全・衛生への配慮している。 (5) レイアウトは見開きを有効に活用し、実習例等を大きく配置している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) ガイダンスで、3年間で身に付く資質・能力について、小学校での学 習や、他教科との関連が分かるように配慮している。 (2) 生活や社会と技術との関わりや、「すごいぞ!技術」で各内容に関連す る最先端の技術を紹介することで、生活との関連性や社会変化に対応 した技術に関心が高まるように配慮している。 (3) 各編の導入において、身の回りの製品や社会における技術の最適化 について取り上げ、「技術の見方・考え方」によって、既存の技術の工 夫を読み取ることができるように配慮している。 (4) 個別に調べたり他者と学び合ったりする場面を設定しやすくすること で、技術の工夫等について他者と関わり合いながら主体的に学ぶこと ができるように配慮している。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、文章と関連を持たせた構成に なっており、随所に二次元コードを配置することで、具体的に学習を広 げられるように配慮している。 (6) 節の冒頭に観点別評価につながる目標を示し、編末には評価の観点 に沿った設問を掲載することで、生徒が身に付けた資質・能力を確認 できるように工夫している。
全体的な特色	○ 問題発見・解決の流れや道筋を丁寧に示し、テーマに則した学習の 進め方や学び方がわかりやすくなるように工夫している。 ○ 生徒の学びと社会問題をつなぐ具体例を提示し、将来にわたって技 術と生活の関わりを考えられるように工夫している。 ○ UD フォントを使用し、さし絵・写真・図表・配色等が鮮明である。実習 例等を見開き2ページに大きく表示し、学習の見通しが持ちやすい配慮 をしている。

様式A

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [技術・家庭]

種目名 [技術分野]

発行名 選定基準	教育図書(新技術・家庭分野 技術分野 明日を創造する)
教科の目標からの配慮	○ 「見つける」「学ぶ」「ふり返る」と学習の流れが意識しやすい配列になっており、学習意欲の喚起、自主的な学び、学習理解の確認ができる工夫をしている。 ○ 問題解決の流れを4ステップでまとめ、生徒が見通しを持ち、自己調整しながら問題解決の力を養うように配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 授業時数や生徒の発達段階などに配慮し、教科書中心に進めることで学習指導要領の内容に沿って系統的に学習できるように配列している。 (2) 各章で「プチ問題解決にチャレンジ」が示されており、身近な問題から生活を工夫し創造することができるよう題材構成の工夫をしている。 (3) 「スゴ技」や「技ヒト」のコラムにより、生活や社会の中で使用される技術に興味・関心を持てるよう工夫をしている。 (4) 実習中の安全な作業の方法や事故防止のポイント、実習時の服装等を示したり、「安全」、「衛生」マークで示したりするなど、安全面、衛生面への配慮をしている。 (5) レイアウトは見開きを有効に活用しており、本文と資料との区別が明確である。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) ガイダンスや各編の冒頭などの関連マークを用いて、他教科や小学校の学習との関連がつかめるよう配慮している。 (2) 「環境」マーク「共生」マーク、SDGs の目標に対応したマークを適所に記すことで環境への意識を高め、『持続可能な社会に対応していく態度が身に付くように配慮している。 (3) 各編で、「技術の見方・考え方」を働かせ、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」という学習の流れを積み重ねることで主体的・対話的で深い学びにつながるように配慮している。 (4) 想像しやすい発問を対話形式で掲載し、調べたり、考えたりしやすくなるような「やってみよう」を配置するなど、他者と関わり合いながら主体的に学ぶことができるように配慮している。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明やタイトルなどが記述されており、各編扉に伝統的な工芸や新技術等も幅広く取り扱えるよう配慮をしている。 (6) 各章、各編の終わりには学んだことをまとめる内容や、評価の観点に沿ったまとめ問題が配置されており、内容を確認できるように工夫している。
全体的な特色	○ 身近な事例から問題発見・解決の流れを学ぶページがあり、教科書を中心として生徒が主体的に問題解決に取り組めるように工夫している。 ○ 身近なテーマに関わる資料を豊富に掲載することで、興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を高められるように工夫している。 ○ さし絵・写真・図表・配色等が鮮明で、ユニバーサルデザインを意識した構成になっている。見開きを有効に活用したレイアウトで、本文とそれ以外の資料との区別が明確になるように配慮している。

様式A

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [技術・家庭]

種目名 [技術分野]

発行者名 選定基準	開隆堂(技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて)
教科の目標からの配慮	○ 学習目標と学習課題が明示されており、生徒が問題意識を高めて、自ら解決しようとする能力を養うように配慮している。 ○ 技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断・評価し、主体的に活用する態度を育むように配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 生徒の生活経験、発達段階、授業時数などを考慮して、各内容が系統的に学習できるように配列している。 (2) 「調べてみよう」「見てみよう」等の身近な問題を観察したり調べたりすることから、生活を工夫し創造できるような題材構成の工夫をしている。 (3) 具体的な製品を取り上げ、原理や組みを考えられるようになっており、興味や関心を持って学習できるように工夫している。 (4) 実習における事故防止について、全体像をイラストで記したり、注意すべきポイントを「安全」マークで示したりするなど、安全面への配慮をしている。 (5) 見開きを有効に活用したレイアウトで、資料との区別が明確である。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 他教科との関連が扉ページで示され、横断的なカリキュラムが構成しやすい配慮をしている。 (2) 先進的な技術や、現代技術の課題や問題点について考えさせられる話題が取り上げられ、将来に向けて関心や課題意識が持続するように配慮している。 (3) ガイダンスで「技術の見方・考え方」を取り上げ、各内容でそれをはたらかせて既存の技術を「技術の見方・考え方」で読み解く授業展開ができるよう工夫をしている。 (4) 「やってみよう」「実験」「ワークシート」が随所に配置されており、他者との関わり合いをもちながら、主体的に学ぶことができるように配慮している。 (5) さし絵・写真・図表・配色等は分かりやすく、生徒目線のアングルで撮影した写真が使用されるなど、学習を広げる配慮をしている。 (6) 各学習項目の終わりに、「CHECK」、内容の終わりに「学習のまとめ」を設けて、学習内容の確認や技術の仕組み、工夫の評価など、学びを深める発展的なまとめができる工夫をしている。
全体的な特色	○ 「技術の見方・考え方」を理解した上で、それらの働かせ方を考えられるよう全体構成を工夫している。 ○ 身近な生活や技術の話題を豊富に取り上げ、技術と社会のつながりの理解が深められる工夫をしている。 ○ UD フォントを使用し、さし絵・写真・図表・配色等が鮮明である。見開きを有効に活用したレイアウトにより、資料との区別が明確になる配慮をしている。

【 技術・家庭 】

（家庭分野）

東京書籍

教育図書

開隆堂

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 2 2 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [技術・家庭]

種目名 [家庭分野]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して）
教科の目線からの配慮	○ 導入で「生活に係る見方・考え方」を例示し、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮している。 ○ 「やってみよう」「考えてみよう」を活用して、問題解決学習を行い、生活の課題を解決する力を育てられるように配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 衣食住の身近な内容を前半、幼児の生活と家族を後半に配置し、発展的な学習ができるような題材配列の工夫している。 (2) 各内容の始めに、単元を通したテーマやねがいが掲げられ、つながりを持って学べるような配慮している。 (3) 物事を考えたり、意見を整理したりする際に有効な思考ツールを示し、家庭生活を実践的に捉えられるよう配慮している。 (4) 巻頭や実習例で安全面や衛生面への配慮している。 (5) 各内容や説明に関連した実物大写真、折り込み頁、図表やイラストなどにより、生徒の学ぶ意欲を高める配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「リンクマーク」により、他の内容や他教科との結び付きを示し、学習指導要領の内容と関連付けて学習ができるよう配慮している。 (2) 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせる発問を設け、実践的・体験的な活動を通して問題解決が図られるよう、授業展開の工夫している。 (3) 「レッツスタート」「生活の課題と実践」で個別や集団での学びから、家庭や地域との連携へと構成されてしている。 (4) さし絵・写真・図表等を活用して課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮している。 (5) 「学習のまとめ」を見開きで設け、まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫している。
全体的な特色	○ 各編の導入において、関連する見方・考え方のキーワードを示し多角的な視点から問題解決に取り組めるよう工夫している。 ○ 各節の始めに「学習課題」を示し、課題意識を持って学習に取り組めるよう、丁寧な構成の工夫している。 ○ UDフォントや軽量な用紙の使用、全ての生徒への色覚特性への適応など、特に配慮をしている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 2 2 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [技術・家庭]

種目名 [家庭分野]

発行者名 選定基準	教育図書（新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する）
教科の目線からの配慮	○ 「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの、実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的な知識及び技能を身に付けられるように配慮している。 ○ 「学びを生かそう」などを活用し、問題解決的な学習を行い、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 内容を学習指導要領の記載に沿って配置し、相互に関連づけて発展的な学習ができるよう題材配列の工夫している。 (2) 絵の写真やイラストと各章の導入の身近な生活の問題から「やってみよう」「学びを生かそう」の学習の流れで、生活を工夫し創造できるよう題材構成している。 (3) 各章の導入に小学校での学習内容や「自立度チェック」を示し、家庭生活を実践的にとらえられるように配慮している。 (4) 「実習は安全に取り組もう！」や各学習内容に「安全」や「衛生」のマークを付し、安全面や衛生面への配慮している。 (5) 巻頭の日本の行事や世界の衣食住の紹介、各内容や説明に関連した実物大写真、折り込み頁、図表やイラストにより、生徒の意欲を高める配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「関連」のマークにより、他の内容や他教科との結びつきを示し、学習指導要領の内容をより深く、関連を持って学習ができるよう配慮している。 (2) 「見つめる」で、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点を用いて生活事象を捉え、主体的に相互に関わりながら活動できるように生徒の実態に合わせた題材の取扱いをしている。 (3) 「見つめてみよう」で個別や集団での学びを促し、「生活の課題と実践」で家庭と連携してできる内容で構成している。 (4) イラストや写真、図表をバランス良く効果的に使用し、それらを活用して課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるように配慮している。 (5) 各学習の「ふり返る」と、各章末に「学習のふり返り」を設け、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫している。
全体的な特色	○ 章末の「学びを生かそう」で、これまでの学びを踏まえて、実践につながる工夫している。 ○ 食品成分表に 6 つの食品群のマーク、食品に量と概量が詳しく記載されるなど、生徒の理解を促す工夫がある。 ○ UDフォントの使用や空白等に余裕のあるデザインで、どんな生徒にも読みやすく把握しやすく編集されている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 2 2 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [技術・家庭]

種目名 [家庭分野]

発行者名 選定基準	開隆堂（技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ）
教科の目線からの配慮	○ 実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的な知識及び技能を身に付けられるように配慮している。 ○ 「話し合ってみよう」などを活用し、問題解決的な学習を行い、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 実践的・体験的な内容を前半に配置し、身に付けた知識・技能を生かし発展的な学習（献立づくりや自分らしい着方など）ができるように題材配列の工夫している。 (2) 家庭や地域の人々との関わりなど、多様で身近な生活の問題に目を向け、課題解決への流れと具体的な例示で、生活を工夫し創造できるよう題材構成している。 (3) 「考えてみよう」などで生徒同士の意見交換ができるように示し、家庭生活を実感的に捉えられるように配慮している。 (4) 調理や製作等の安全にかかわる基礎・基本を示し、実習例に「安全」等のマークを付し、安全面や衛生面への配慮している。 (5) 各内容や説明に関連した実物大写真、折り込み頁、図表やイラストとともに、発展的な内容の資料が多く用意しており、生徒の意欲を高めるような配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「他の頁」「他教科」「小学校」のマークで、他の内容や他教科との結びつきを詳しく示し、学習指導要領の内容をより横断的に学習できるように配慮している。 (2) 「話し合ってみよう」で、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点を用いて生活事象を捉え、主体的に相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態に合わせた取扱いをしている。 (3) 「考えてみよう」で個別や集団での学びを促し、「生活の課題と実践」で家庭と連携してできる内容で構成している。 (4) さし絵・写真・図表等を活用して課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮している。 (5) 「学習のまとめ」を見開きで設け、まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫している。
全体的な特色	○ 各内容の最後に持続可能な社会の構築に関連した項目を設け、環境に配慮した生活に向けた行動ができるよう工夫している。 ○ 題材の導入、終末で「先輩からのエール」や「地域の取り組み」を示し、将来の生活につながるよう配慮している。 ○ UDフォントの使用や色覚の個人差への配慮、特別支援教育の視点から文章や紙面の配置の工夫などの配慮している。

【 英 語 】

東京書籍

開隆堂

三省堂

教育出版

光村図書

啓林館

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [外国語]

種目名 [英 語]

発行者名 選定基準	開隆堂 (Sunshine English Course)
教科の目標からの配慮	○ 各単元の導入場面では、新出表現を用いた日常会話が 2 コマ漫画形式で表され、生徒が単元を通して学習する表現をまず使ってみることから始まり、段階的に 4 技能 5 領域の基礎が学んでいけるように工夫されている。 ○ 外国の文化や日本の文化、身近な学校行事から社会的課題まで幅広いテーマが扱われており、興味をもってコミュニケーション活動が図れるよう工夫がされている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 巻頭「教科書の構成」には、各学年の目標や一年間の学習れ、単元の構成が明示され、学びの見通しが立てやすい。 (2) 1 年次冒頭 14 ページを <i>Get Ready</i> として、「聞く」「話す」「読む」「書く」の順で小学校の復習をすることができ、中学校での学びに容易につなげていけるような工夫がされている。 (3) 各学年の行事と連動している内容や「フィンランドってどんな国」「アフリカの甲子園」のように異文化にも触れながら、生徒が興味・関心を持って学べる題材が多く扱われている。 (4) 二次元コードからアクセスできる「単語練習アプリ」は、生徒が自分で単語練習をしたり小テストをしたり設定することができ、個別最適な学習をすすめていく上で有効である。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 各単元の扉では、写真が大きく示され、これから学習する単元内容をイメージさせながら指導できるよう工夫がされている。 (2) 各単元の扉と <i>Scenes</i> では、単元を通して学ぶ表現が場面とともに具体的に示され、続くパートでは、本文とともに繰り返しその表現に触れられることで、基本表現を着実に身に付けるための指導ができるよう工夫されている。 (3) 各単元で「聞く」「話す」「読む」「書く」の言語活動をバランスよく指導できるよう構成されている。 (4) 3 年間を通して 8 回設定されている <i>Our Project</i> では、スピーチやチラシ作り、ディベート等、既習の言語材料を総動員しながら統合的なパフォーマンス活動ができるよう工夫されている。 (5) 巻末の CAN-DO リストでは、4 技能 5 領域のそれぞれの目標と観点が示され、生徒が自分の学びの過程や達成度を振り返りながら学習を進めていく指導ができるよう工夫がされている。
全体的な特色	○ 単元末の <i>Review & Retell</i> では、単元で学習した内容を自分の言葉で説明する活動が設けられており、自己表現の力を積み重ねていけるよう工夫されている。 ○ ページの右側の索引部分に描かれたイラスト（動物がゴールの旗に向かって登っていくもの）は、生徒が視覚的に学習の経過を把握しやすい工夫がされている。 ○ 1 年生の本文は、導入時の生徒にとっても、字が大きめで、行間も広く、読みやすくなるような工夫がされている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [外国語]

種目名 [英語]

発行者名 選定基準	三省堂 (NEW CROWN English Series)
教科の目標からの配慮	○ 4 技能 5 領域の基礎とともに、思考力・判断力・表現力が養えるよう、目的や場面、状況などを明確にした言語活動が各単元に効果的に配置されている。 ○ 日本や他国の文化的な背景を考慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度が養われるよう配慮されている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 読んだことを基に話す活動が各単元で明確に位置付けられている。特に Part 3 は、<i>Side Story</i> や <i>Small Talk Plus+</i> など、アウトプットに特化した言語活動が多く設定されており、生徒が英語で伝え合う力を効果的に高めていけるよう配慮されている。 (2) 単元末の <i>Goal Activity</i> では、技能統合的な言語活動が生徒の興味・関心の持てる話題や場面とともに設定されているため、生徒が目的・場面・状況を明確に想起しながらコミュニケーション活動に取り組めるよう配慮されている。 (3) 生徒の興味・関心や発達段階に応じて、身の回りのことから社会的課題まで幅広いテーマが扱われている。 (4) 各パートに配置された二次元コードからアクセスできるデジタル教材の内容が充実している。また、操作性も優れており、生徒が自分のペースで自律的に学べるよう配慮されている。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 扉ページに、単元末に行いたい言語活動が <i>Goal Activity</i> として示されるとともに、そこまでの学習の道筋が <i>Lesson Preview</i> としてイラストで紹介され、生徒に単元全体のイメージを持たせやすいよう工夫されている。 (2) 4 技能 5 領域が偏りなく指導できるよう各単元が構成されている。また、技能統合的な言語活動が、単元末の <i>Goal Activity</i> と複数単元末の <i>Project</i> として配置され、それぞれの言語活動を通して技能を総合的に高める指導ができるよう工夫されている。 (3) 各 Part は複数の <i>SCENE</i> で構成され、初めにイラストを見ながら聞く活動を、次に本文を聞いて読む活動を行うなど、音声から文字へと徐々に理解を進める指導ができるよう工夫されている。 (4) <i>CONTENTS</i> (目次) に 1 年間で学習する基本文が明示され、生徒に学習の見通しを持たせる指導ができるよう工夫されている。 (5) 第 1 学年 Lesson 4 までの活動が、小中連携を意識した構成となっているため、小学校での学びを生かした言語活動や学習活動が構想できるよう工夫されている。
全体的な特色	○ 単元末活動 <i>Goal Activity</i> に向けて、単元を通して技能統合的な活動が行いやすい構成となっている。 ○ 各単元においてイラストや写真が適切に配置され、目的・場面・状況がより具体的にイメージできるよう工夫されている。 ○ 絵やイラストの色の強みを抑えるなどの配色の工夫により、生徒が英文に注目しやすくなるように配慮されている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [外国語]

種目名 [英語]

発行者名 選定基準	光村図書 (Here We Go! ENGLISH COURSE)
教科の目標からの配慮	○ 各単元、「聞く」「読む」「話す」「書く」の順で構成され、4 技能 5 領域が偏りなく段階的に習得できるよう工夫されている。 ○ Unit の始めには単元末の技能面の到達目標が、また Unit の終わりの <i>Goal</i> では目的・場面・状況が具体的に示されており、見通しや目的を持って学習が進められるよう工夫されている。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 各パートとも、まず本文理解から新出表現や言語材料への気づきが促され、それを活かした練習活動や言語活動が段階的に行うことができる構成となっている。 (2) 英語の使用場面が想像できるよう、場面設定や写真、イラスト等が工夫されている。また、各単元末にある <i>Daily Life</i> では日常生活でよく見られる場面を取り出し、生徒同士で興味を持って対話活動ができるよう工夫されている。 (3) 巻末の帯教材 <i>Story Retelling</i> では、各単元の内容が 6 枚のイラストで表され、それらを生徒が自分の言葉で表現する活動を通して話す力が高めていけるよう工夫されている。 (4) 各パートに二次元コードがあり、生徒が自分で学習する際、必要な内容を自分のペースで進めていけるよう工夫されている。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 全単元が 3 つの <i>Part</i> と <i>Goal</i>、<i>Daily Life</i> という構成になっており、指導者が指導計画を立てやすく見通しを持った指導ができるよう工夫されている。 (2) 各単元の <i>Goal</i> (まとめの活動) が巻末の <i>CAN-DO List</i> と紐づけられ、各単元での学びを指導者が生徒とともに振り返ったり学習到達度を評価したりすることができるよう工夫されている。 (3) 日常的な話題から社会的な話題までが段階的に扱われているため、生徒の発達段階に応じて相手意識を持たせながら言語活動に取り組んでいける指導ができるよう工夫されている。 (4) 帯学習を通して、既習表現や語彙に繰り返し触れさせることで、知識・技能の定着につながる指導ができるよう配慮されている。 (5) 実社会での言語使用場面が意識された内容が扱われており、場面特有の表現に触れさせながら、理解と活用を図る指導ができる構成となっている。
全体的な特色	○ 4 技能 5 領域の言語活動がバランスよく配置されており、段階的に学習ができるよう工夫されている。 ○ 中学生の気持ちや伝えそうなこと、起こりそうな出来事を中心にストーリーが構成されている。 ○ 3 年間を通して各ページに十分な余白と大きくて見やすい文字が採用されている。また、落ち着いた色合いの挿絵や資料で構成されている。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究会

教科名 [外国語]

種目名 [英語]

発行所	主な特色
東京書籍 (NEW HORIZON English Course)	○ 単元末の <i>Unit Activity</i> に向けて、聞いたり読んだりして理解した英語を用いて徐々にアウトプットする活動へとスモールステップで積み上げていけるよう構成されている。また、各学年に3回ずつある <i>Stage Activity</i> では、複数の技能や領域の力を統合的に活用した言語活動が行えるよう工夫されている。 ○ 自分の将来についてなど、扱う題材が学校生活などの身近な話題から日本文化そして世界へと、発達段階に応じて生徒が視野を広げていけるよう工夫されている。 ○ 各 Unit の扉にある <i>GOAL</i> (単元目標) の達成状況が確認できるよう、単元末活動の後には <i>CHECK</i> (振り返り) が設けられている。
啓林館 (BLUE SKY English Course)	○ どの単元においても、本文を扱ったあとに <i>Listen/Speak/Write</i> の活動が設定されている。また、<i>Project</i> では、複数単元で身に付けた知識・技能を用いて、思考・判断・表現の力を高めるための活動が設定されている。 ○ 学校生活などの日常的な話題から、災害や職場体験学習、SDGs のような社会的な話題まで、題材が多岐にわたっており、発達段階に応じて生徒が興味を持っていけるよう工夫されている。 ○ 各単元の <i>Unit Goal</i> では、<i>Input</i> (聞く、読む) のゴールと <i>Output</i> (話す、書く) のゴールが分けて明示されている。
教育出版 (ONE WORLD English Course)	○ 各 <i>Part</i> では自分の考えや気持ちを表現する活動があり、各単元末の <i>Task</i> では、コミュニケーションの目的・場面・状況が明確に設定され、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 ○ 複数単元末に設定されている <i>Project</i> では、4技能5領域を統合的に活用する言語活動が位置付けられており、生徒が既習表現を用いて言語活動に取り組めるよう配慮されている。 ○ 生徒の内容理解の助けとなるようなイラストや写真が使用されている。

【 道 徳 】

東京書籍

教育出版

光村図書

日本文教出版

G a k k e n

あかつき教育図書

日本教科書

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [特別の教科 道 徳]

種目名 [道 徳]

発行者名 選定基準	東京書籍（新編 新しい道徳）
教科の目標からの配慮	○ 自己への問いかけや他者意識をもてるような発問が用意されており、自己を見つめる学習ができるよう配慮している。 ○ 自分の考えだけでなく、多面的・多角的に考えられるようなコラム「Plus」で教科の補充が図れるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 重点項目として資料が複数扱われており、生徒の発達段階に即して適切な話題や題材が取り上げられるよう配慮している。 (2) SDGs と関連して考えられる付録教材があり、題材の具体から様々な立場を理解することや、課題を把握しやすいよう配慮している。 (3) 3 年間同一の登場人物がそれぞれの立場で葛藤する物語を通して、自分自身の気持ちを重ね合わせながら、他者理解を深めやすいよう配慮している。
学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各学年の内容項目を 35 の教材で、生徒の馴染みのある人物や近年話題となっている物事の題材に触れ、道徳的価値を多様な形で学べるよう工夫している。 (2) 学校行事や生徒の実態、時事的な話題に基づいた教材がどの学年にも同一の時期に配置され、年間指導計画が作成しやすいよう配慮している。 (3) 巻末の学びを振り返る用紙と各教材の脚注「つぶやき」欄を活用することで教師が生徒の成長を把握できるよう工夫している。
全体的な特色	○ 探究の対話 p4c が計画的に配置されており、物語教材をさらに深めていくための手法が丁寧に示されている。 ○ 各教材で気持ちと行動の葛藤を、言葉ではなく、気持ちの割合を表せるための配慮として心情円の図が巻末に付いている。 ○ 文字は一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを使用し、生徒の発達段階への配慮をしている。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [特別の教科 道 徳]

種目名 [道 徳]

発行者名 選定基準	光村図書（きみがいちばんひかるとき）
教科の目標からの配慮	○ 道徳的価値に迫れるよう「道徳の学習を始めよう」というページを設けることで、学習のイメージがもてるよう配慮している。 ○ 「見方を変えて」という切り口を変えた問いが設けられており、多面的・多角的に考えることができるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 1 年間で学びが、生徒の成長に寄り添えるようにキーワード毎で構成されているため、学習の見通しがもちやすい。 (2) 「チャレンジ」では、問いを立てて話し合ったり役割演技をしたりして、考えを深めていく活動を取り入れている。 (3) SDGs を扱った教材を複数配置し、教材の終わりに示すことで、現代的な課題について考えを深められるよう配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 「つなげよう」という問いが設けられており、自己の生き方について考えを深めたり広げたりできるよう配慮している。 (2) 題材の他に、問い合うこと、友と協働的に答えを求めることの楽しさを味わえるような教材が配置されており、生徒が主体的に学び、教師が創意工夫しながら授業をつくることができるよう配慮している。 (3) 自分の考えを書き留めるページが設けられており、1 年間の学びを 1 枚で見渡すことで自己の学びの深まりに気付くことができるよう配慮している。
全体的な特色	○ 「問う」に着目した様々な活動を設け、生徒が自分事として考えられるよう工夫している。 ○ 各学年で、人権に関わる教材とコラムを組み合わせしており、3 年間を通して人権に対する感覚を養うことができるよう教材の配列を工夫している。 ○ 内容項目が、色の識別が容易なハートマークで示している。また、他教科との関連がわかるマークを教材末に示している。

様式 A

令和 7 年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和 6 年 7 月 22 日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究員会

教科名 [特別の教科 道 徳]

種目名 [道 徳]

発行者名 選定基準	日本文教出版（中学道徳 あすを生きる）
教科の目標からの配慮	○ 全ての教材の冒頭で学びのキーワードが示され、「もくじ」でも SDGs にも関わるテーマを視覚的に示し、生徒が自分との関わりで主体的に取り組めるよう配慮している。 ○ 別冊の道徳ノートを用いて、自己の学びをまとめ、振り返ることができるよう配慮している。
生徒の学習活動への配慮 ○ 内容の程度 ○ 学習活動への誘意性	(1) 各学年とも発達段階に即した題材が取り上げられ、学校行事や日常生活との連携に配慮している。 (2) 人物の多様な生き方に触れることができ、生き方を深める「あすへのメッセージ」が学習意欲を喚起できるよう工夫している。 (3) 写真資料やイラスト等が大きく配置されており、性別、人種等について偏りがない内容や挿絵を用いており、多様性に配慮している。
学習指導への配慮 ○ 単元・題材の配列 ○ 内容の扱い	(1) 生徒が発展的に学習できるように各学年のテーマを設定し、SDGs に関わる内容に関する教材を継続的に配列している。 (2) いじめを自分事として捉えるために、いじめと向き合うための直接的・間接的な教材とコラムを複数提示することで、多面的・多角的に考えられるよう配慮している。 (3) 1 教材 1 ページの道徳ノート（別冊）で、生徒が自身の学びの積み重ねを実感できるとともに、教師が生徒の学習状況や道徳性に関わる成長の様子を把握できるよう工夫している。
全体的な特色	○ SDGs に関わる「いじめ」と「よりよい社会」について重点的かつ継続的に学習できるように、直接的と間接的な教材、コラムを連続して配置し、多様な視点と知識の深化が目指せるよう工夫している。 ○ 全教材で、「気付く」、「考える議論する深める」、「見つめる生かす」の 3 ステップで 1 時間の見通しをもって学べるよう工夫している。 ○ ユニバーサルデザインフォントが使用され、一文の途中でページをめくることがないように見開き単位の配慮をしている。

様式B

令和7年度以降使用教科用図書選定のための資料

令和6年7月22日

学校区分 [中学校]

教科用図書調査研究委員会

教科名 [特別の教科 道 徳]

種目名 [道 徳]

発 行 所	主 な 特 色
あかつき教育図書（中学生の道徳）	○ 全ての教材に、自分ならどうするかを考える「自分との対話」が終末に配置され、道徳的価値を問い直す構成として配慮している。 ○ 巻頭や巻末の内容一覧が学習者にとって理解しやすくまとめられており、1年間の学びをイメージしやすく工夫している。 ○ 「マイ・プラス」の発問では、体験的な学習を提案しており、対話を通して考えを深めるよう工夫している。
Gakken（新版 中学生の道徳 明日への扉）	○ 多様な考えが出るよう主題名を巻末にまとめ、問題意識を高める「キーフレーズ」で、生徒が主体的に考えられるよう工夫している。 ○ 最重点テーマを「命」とし、「生命の尊厳」を中心に様々な内容項目で考えることより、人権を重んじ、多様性を受け入れることにつながるよう教材を配列している。 ○ AB判の紙面で写真やイラスト等が大きく配置され、全ての生徒が見やすく学習を進められるよう配慮している。
教育出版（中学道徳とびだそう未来へ）	○ 教材冒頭の「導入の問い」は、端的な文で考えるきっかけを得ることができ、教材末の「道しるべ」では考えが広がり、深まるよう「授業のはじめ、終わり」を関連させ、工夫している。 ○ 教材を複数連続させたり、コラム「ひろば」を補助的に組み合わせたりして、問題の本質に迫れるよう工夫している。 ○ イラストに噴出しがあり、チャット風に話の展開を理解できるように工夫している。
日本教科書（生き方から学ぶ）	○ 「ウェルビーイングカード」で、一人ひとりの考えが可視化できるようにし、自他共にウェルビーイングを尊重し、協働して社会を創っていかうとする力を身に付けるよう工夫している。 ○ 学習指導要領の内容項目順に教材が配列され、学校行事や重点指導のための期間などに応じて、教材の順番を入れ替えた指導計画を作成する際に、落ちなく確認できるよう配慮している。 ○ 写真資料、挿絵、動画、漫画教材等を適所に挿入した紙面構成で教材の視覚化によって、生徒の内容理解を促しやすくしている。